





さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年7月12日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座1		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	各60名	募集期間	令和7年4月22日から令和7年7月5日
参加者数	120名 対面50名、オンライン20名 サテライト50名 ※サテライト会場8箇所	参加費用	無料
講師 等	東京大学地震研究所 観測開発研究センター 教授 酒井 慎一 氏		
実施内容	<p>内容:「最先端技術・データを活用した地震の理解」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時55分 講演(休憩10分含) 午後3時55分～午後4時 アンケート記入、閉演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>酒井講師</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> </div> <p>※サテライト会場(8施設)・・・旭市民会館、君津市生涯学習交流センター、 千葉市稲浜公民館、おゆみ野公民館、椎名公民館、 千城台公民館、幕張公民館、佐倉市弥富公民館</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度98%】</p> <p>○備えの大切さを痛感しました。予測に期待するよりもこれだけの情報を学習させていただいているから再度見直していきたいと感じた。</p> <p>○技術的な内容が主かと想像していたが、現実的な対策や対応の難しさなども含めて社会的課題が多く語られ、ある意味本質的に感じた。</p> <p>○専門的な調査分析に基づく知見を直接的かつ具体的に生かすことが様々な制約によ</p>		



	<p>り難しく、できることは人々の意識を高めることであると話されていたように思ったが、極めて現実的であるとともに専門家の苦悩であるように感じた。</p> <p>○「最先端技術・データを活用した」というテーマだったが、特に新しい情報が得られず残念だった。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「地震」をテーマに地震研究の現在と災害について説明していただいたことにより、県民の地震や災害に対する意識や生活の中での取り組み方に寄与することができた。 ・オンライン、サテライト配信からの質問については Zoom のチャット欄を活用し、講師に回答いただけるよう配慮した。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は質問が多く、すべての回答をその時間に得ることは不可能であると感じた。後日講師から回答いただける旨の連絡を講座前にできるようにしていく必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年9月13日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座2		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	各60名	募集期間	令和7年7月3日から令和7年9月6日
参加者数	139名 対面51名、オンライン62名 サテライト26名 ※サテライト会場6箇所	参加費用	無料
講師 等	千葉大学教育学部 幼児心理学研究室 教授 中道 圭人 氏		
実施内容	<p>内容:「子どもがのびる!『非認知能力』～人生を豊かにする力を育む～」</p> <p>日程:午後2時～午後2時5分 オリエンテーション 午後2時5分～午後3時45分 講演(休憩10分含) 午後3時45分～午後4時 質疑応答、アンケート記入、閉演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>中道講師</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> </div> <p>※サテライト会場(6施設)・・・旭市民会館、君津市生涯学習交流センター、千葉市磯辺公民館、椎名公民館、都賀公民館、土気公民館</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度99%】</p> <p>○大人のマインドセットが子への教育環境を整えることにつながると思うとこのように市民向けに講座を開設する意義を強く感じました。</p> <p>○幼児教育の有用性についてエビデンスを基にご講義いただいたので、理解が深まりました。</p> <p>○大学講義レベルの内容を分かりやすく、エビデンス、参考書籍を交えながらお話いた</p>		

	<p>だけました。公教育に心理職として関わる上で、大変勉強になりました。書籍、論文から更に勉強したいと思います。</p> <p>○概要についてよくわかりました。どのように育むかの具体例をもっと知りたいと思いました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「非認知能力」をテーマに社会全体で子どもを育てていくことが未来の社会を育てていくこと等について説明していただいたことにより、県民が子どもの大切さに気づき、社会全体で育てていこうとする意識を持たせることができた。 ・広報・周知については、「非認知能力」をテーマとしたため子育て世代の方々に受講していただきたい思いがあった。そのため、市町村生涯学習課、県内各高校だけでなく、県内各公立保育園や私立幼稚園、近隣地区の小学校に周知を行い、たくさんの方にお申込みいただいた。特にオンライン受講の申込者は100名を超えたため配架先を広げたことは大変有意義であった。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は音声トラブルの関係で、講座開始が5分程度遅れてしまった。事前に確認はしていたが、講師来所後にも今一度音声を確認し、滞りなく講座が実施できるようにしていきたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年10月13日(月・祝)		
事業名	ちばアカデミア講座3		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 中研修室2		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	各60名	募集期間	令和7年7月30日から令和7年10月6日
参加者数	55名 対面23名、オンライン17名 サテライト15名 ※サテライト会場3箇所	参加費用	無料
講師 等	東京大学 空間情報科学研究センター 助教 ピニエイロ アベウ タイチ コンノ 氏		
実施内容	<p>内容:「逃げる？留まる？まよう心に備える防災リテラシー」</p> <p>日程:午後2時～午後2時5分 オリエンテーション 午後2時5分～午後3時55分 講演(休憩10分含) 午後3時55分～午後4時 アンケート記入、閉演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>コンノ講師</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> </div> <p>※サテライト会場(3施設)・・・君津市生涯学習交流センター、椎名公民館、長南町中央公民館</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度100%】</p> <p>○災害の恐ろしさを改めて感じた。色々な状況を考え、防災リテラシーを高めていかなければならないと思った。</p> <p>○話を聞くだけでなく、皆さんの考えも聞くことができ自分の考えを振り返る時間を得ることができてとてもよかった。</p> <p>○スマホによる参加型の講演がとても面白かった。自分の考えをシミュレーションできたので非常にためになった。</p>		

	<p>○普段から防災訓練等に参加し、現状難しいことやどんな点が難しいかなど伝えることでそういった少数の意見も今後伝えていくようにしようと改めて思わされた。</p> <p>○スライド画面に手元の資料にはないものが多くあった。メモを取れなくて残念だった。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「防災リテラシー」をテーマに東日本大震災の事例から要配慮者を守る取り組みや地域連携を意識した避難行動等について説明していただいたことにより、県民の防災に対する意識を高めることに寄与することができた。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライト会場よりオンライン向けの音声がかもっているとの指摘を受けた。事前に機材については確認していたが、改めて講師の持ち込み機材も含めて確認をする必要があると感じた。講師の来所時間については機材に合わせて変更していこうと思う。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年11月29日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座4		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	各60名	募集期間	令和7年9月26日から令和7年11月22日
参加者数	150名 対面64名、オンライン25名 サテライト61名 ※サテライト会場8箇所	参加費用	無料
講師 等	千葉大学大学院 園芸学研究院 教授 江頭 祐嘉合 氏		
実施内容	<p>内容:「腸内環境の改善について～生活習慣病・認知症予防の可能性～」 日程:午後2時～午後2時5分 オリエンテーション 午後2時5分～午後3時45分 講演(休憩10分含) 午後3時45分～午後4時 アンケート記入、閉演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>江頭講師</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> </div> <p>※サテライト会場(8施設)・・・旭市民会館、君津市生涯学習交流センター、さつきが丘公民館、椎名公民館、高浜公民館、長南町中央公民館、長作公民館、みつわ台公民館</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度80%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最新の研究成果を具体的に紹介していただき、貴重な機会となった。 ○脳と腸が相互に作用していることがわかった。 ○腸内細菌叢を整えることが健康の維持・改善の肝であると理解できた。野菜、果物などを増やし普段の食事から食物繊維ほかで腸活に努めたいと思った。便移植は初めて知ったのでネットで詳しく見てみようと思った。 		




	<p>○内容が専門的で難しく、少しわかりづらかった。</p> <p>○講演スライドには手元にはない資料が多くあった。講師の説明に知識が追い付かず、残念だった。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「腸内環境」をテーマに腸と脳が相互に作用し合って健康を保っていることについて説明していただいた。様々な病気に有効な食物、調理についても論文等をもとに説明していただくことで県民の食生活の見直し等健康意識を高めることに寄与することができた。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の対面受講者より会場の音声が小さいと指摘を受けた。会場人数、講師の声量等を確認した上で、早い段階で音量の調節をしていく必要があると感じた。 ・配付資料にはないスライドについて受講者から手元にはないものを説明されても困ると指摘を受けた。事前に「権利等の都合により配付資料にはないスライドがある」ことを受講者に説明していく必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和8年1月31日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座5		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	各60名	募集期間	令和7年11月18日から令和8年1月24日
参加者数	75名 対面27名、オンライン18名 サテライト30名 ※サテライト会場5箇所	参加費用	無料
講師 等	武蔵野大学 ウェルビーイング学部 講師 楠 聖伸 氏		
実施内容	<p>内容:「ウェルビーイング～よりよく生きるためのヒント～」 日程:午後2時～午後2時5分 オリエンテーション 午後2時5分～午後3時45分 講演(休憩10分含) 午後3時45分～午後4時 アンケート記入、閉演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  楠 講師 </div> <div style="text-align: center;">  会場の様子 </div> </div> <p>※サテライト会場(5施設)・・・旭市民会館、君津市生涯学習交流センター、佐倉市立弥富公民館、千葉市打瀬公民館、誉田公民館</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度97%】</p> <p>○ウェルビーイングの概念、趣旨がよくわかった。これを日々の生活に落とし込んでいくことを課題としていきたいと思う。</p> <p>○ウェルビーイングは複合的な概念であるため、自分が何についてのウェルビーイングについて考えているのか切り口を持っておくことと実践が大切と先生がお話されていたのが印象的だった。</p> <p>○ウェルビーイングについて、具体的な内容でわかりやすかった。個から集団へ、集団か</p>		




	<p>ら個へ、いろいろな場面に応用ができそうなのでぜひ実践していきたいと思う。</p> <p>○とても関心のあるテーマで、かつ、ワークの時間もあって大変楽しめる講座だった。自己受容できると幸福度が上がると感じていましたが、自分が幸せであることが、周りの幸福度を上げると知り、ますます自分を大事にしていこうと思った。</p> <p>○グループワークの時間が短すぎた。もっとやりたかった。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「ウェルビーイング」をテーマに幸せは人とのつながりの中で高まっていくことについてお話しいただいた。講師が平易な言葉で説明する等、受講者に配慮して講演いただいたおかげで、受講者は「幸せ」について考える良い機会となった。 ・講座の運営方法については、講義だけでなく、グループワークを取り入れた双方向の活動を設けたことで、参加型の講座となった。それによって、受講者のウェルビーイングを学ぼうとする意識を高めることに寄与することができた。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座直前に準備物がいくつかあることがわかり、サテライト会場にはご迷惑をおかけした。今後は講師との連絡を密にし、余裕をもって準備物を確認したり、各会場に伝えたりできるようにしていく必要があると感じた。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7年 8月 2日(土)		
事業名	ちば子ども大学		
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。		
会 場	当所1階アゴラ		
対 象	小学校4年生～中学校3年生		
申込方法	Web申込		
募集定員	50名	募集期間	令和 7年 7月 2日から令和 7年 7月26日
参加者数	30名	参加費用	無料
講師 等	理学博士 つくば科学教育マイスター 元防災科学技術研究所総括主任研究員 納口 恭明 氏(Dr. ナダレンジャー)		
実施内容	<p>内容:「Dr. ナダレンジャーの自然災害科学実験教室」 災害を引き起こす自然現象のメカニズムを楽しく学ぶ。</p> <p>日程:午前9時55分～午前10時 オリエンテーション 午前10時～午前11時50分 講義 午前11時50分～正午 アンケート記入、閉講</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>Dr.ナダレンジャー(左)と 助手のナダレンコ (右)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>雪崩を疑似体験中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地震(揺れ)のリズム変化が、 建物に与える影響を実験中</p> </div> </div>		
参加者アンケート	<p>【満足度96%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たくさんの自然災害について知らないことや知っていることも詳しく面白く教えてもらうことができ、とても楽しい教室でした。 ○実験で自分の目を見てどうなるかを確かめられて頭に入りやすかったです。 ○面白かったし、勉強になりました。実験の内容はどれも簡単だけど、そこから色々な学びをすることができるので、時間があったら作ってみようと思いました。 ○落石の速さが知れて、山がこわくなりました。でも楽しかったです。 		

	<p>○雲をつくる実験が不思議でした。</p> <p>○もともと防災が好きで、本の文章を読んでいるだけでは分からなかった液状化現象のことについて知れて良かったです。実験を家でたくさんやりたいと思いました。</p> <p>○夢が気象予報士なので、より興味を持つことができました。</p> <p>○身近にある自然災害だけど、知らないことがたくさんあって、この機会にたくさん知れて良かったです。</p> <p>○様々な模型で説明をしてくれて分かりやすかったです。自由研究で活かしていきたいです。</p> <p>○夏休みの科学論文の参考になりました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨については、理学博士の指導のもと、災害を引き起こす自然現象のメカニズムについて「ホンモノ」から学ぶ楽しさや、子どもたちの自らの学びを広げ深めるという目的を実現できた。 ・ちば子ども大学の周知については、各市町村教育委員会担当課へメールで行った。講座当日には、13市から受講生が参加し、広報の効果が伺える。 ・受講生のアンケートについては、満足度が96%と高い結果が得られた。実験や体験を通して自然災害について分かりやすく学ぶことができた結果であると考える。 ・講座内容については、Dr.ナダレンジャーと助手のナダレンコの掛け合いが楽しく、終始受講者の笑顔が絶えなかった。また、参加型の講義あったため、受講者の理解が深まった。 ・会場については、大研修室で行う予定であったが、講師との打合せ時に高さのあるところの方がより実感が湧く実験があるということでアゴラとした。当日は、会場の広さを活かした実験を行うことができた。 ・講師の書籍販売については、当所基準に則り、手順を踏んで販売を許可することができた。講座終了後に書籍を購入する受講者も多く、学びの深まりの一助になったと考える。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座リマインドについては、受講者にメールで数日前に連絡をすることで、無断での欠席を減らせる可能性がある。 ・会場設営については、当日に講師と相談しながら椅子の配置を考えた。講師によっては、会場を見てからイメージを膨らませる方もいるかもしれない。状況に応じて、事前に準備を行うか当日に行うかを判断していきたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年10月25日(土)		
事業名	ちば子ども大学		
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。		
会 場	当所3階中研修室2		
対 象	小学校4年生～中学校3年生		
申込方法	Web申込		
募集定員	50名	募集期間	令和 7年 9月 25日から令和 7年10月18日
参加者数	16名	参加費用	無料
講師 等	筑波大学 体育系 准教授 松井 崇 氏		
実施内容	<p>内容:「eスポーツの魅力に迫る！」 今話題のeスポーツとは何か？ゲームとの違いや楽しく健康にプレーする方法について学ぶ。</p> <p>日程:午前9時55分～午前10時 オリエンテーション 午前10時～午前11時50分 講義 午前11時55分～正午 アンケート記入、閉講</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講師の松井先生</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>eスポーツ体験者の心拍を受講生みんなで実感中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>eスポーツプレー中の心拍の同調具合を確認中</p> </div> </div>		
参加者アンケート	<p>【満足度 100%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゲームとeスポーツの違いを知れて良かったです。 ○eスポーツの内容ややり方が分かって楽しかったです。 ○心拍数とスポーツ、eスポーツのパフォーマンスの関係を知ることができて良かったです。 ○自分の心拍数が見える化できて面白かったです。 		

	<p>○eスポーツとゲームの違いについて心拍が関係しているとは思っていなかったから、とても驚きました。</p> <p>○先生の説明が面白く、楽しく学ぶことができました。eスポーツについて詳しく分かることができました。</p> <p>○普段、何気なくやっているゲームもオンラインより、友達とやったり、やるたびに運動してからやったりすると、いつもより上手くできることを知れて良かったです。</p> <p>○eスポーツは、難しいイメージがあったけど、意外に身近だと分かりました。</p> <p>○最初はあまり興味がなかったけれど、健康のことや心拍数のことを知ることができて良かったです。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨については、大学准教授の指導のもと、eスポーツの魅力や正しいプレーの仕方について「ホンモノ」から学ぶ楽しさや、子どもたちの自らの学びを広げ深めるという目的を実現できた。 ・受講者のアンケートについては、満足度が100%と高い結果が得られた。体験を通して学ぶことができた結果であると考えます。また、講師の説明が分かりやすく興味深いものであったことも要因と考える。 ・会場については、大研修室で行う予定であったが、受講者人数を考慮し、中研修室2に変更した。4人一組で班を作り、長机を向かい合わせ場づくりを行ったことでグループでの和も深まったと考える。 ・講師は、ICT 機器を活用し、心拍数を見える化しながら受講生の興味関心を深めていた。助手の大学院生との連携により、円滑に講座を運営することができた。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講申込数が18名(当日の参加人数は16名)と低調であった。講座実施日は土曜日であったが、学校登校日の児童生徒も多かったと推察する。また、夏休み中の講座に比べて申込者が減る傾向にあるため、次年度以降は、なるべく夏休み中の講座を実施していきたい。 ・当日の会場図について、事前に講師と打ち合わせることができなかった。当日に早めに準備を行うことで対応したが、モニターやスクリーンの設置場所、机の配置等を確認しておくことでさらに余裕を持って準備することができたと考えます。 ・75%の受講生が家の人の勧めがきっかけで参加している。自発的で意欲的な受講者を確保するための手立てを模索していきたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告




実施日	令和7年7月27日(日)《千葉県立美術館》 令和7年8月 1日(金)《聖徳大学》 令和7年8月21日(木)《産業技術総合研究所柏センター》 令和7年9月13日(土)《千葉県立現代産業科学館》 令和7年9月27日(土)《城西国際大学》 令和8年2月14日(土)《千葉大学》																														
事業名	ちば子ども大学																														
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。																														
会 場	各協力機関																														
対 象	小学校4年生～中学校3年生 ※講座により異なる																														
申込方法	Web申込																														
募集定員	講座により異なる	募集期間	各講座開催日の1か月前から1週間																												
参加者数	103名	参加費用	無料																												
講師 等	千葉県立美術館 上席研究員 廣川 政和 氏 聖徳大学音楽学部音楽学科 准教授 柏原 奈穂 氏 産業技術総合研究所柏センター情報・人間工学領域人間社会拡張研究部門 研究員 須藤 大輔 氏 千葉県立現代産業科学館 上席研究員 重黒木 誠 氏 城西国際大学福祉総合学部理学療法学科 山根 主信 氏 千葉大学環境健康フィールド科学センター 副センター長 准教授 塚越 覚 氏																														
実施内容	参加人数等: <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>協力機関</th> <th>講座名</th> <th>募集定員</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立美術館</td> <td>展示室で造形体験！学習キット「ビルダーカード」で何をつくる？</td> <td>50名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>聖徳大学</td> <td>声が良い魔法のレッスン！</td> <td>50名</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>産業技術総合研究所</td> <td>ヒトのからだってどう動く？“見る力”でわかる体のヒミツ！</td> <td>30名</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>県立現代産業科学館</td> <td>プログラミングにチャレンジ！</td> <td>30名</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>城西国際大学</td> <td>カラダをもっと知ろう～よい姿勢と呼吸で集中力アップ！～</td> <td>15名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>千葉大学</td> <td>イチゴを通じて最先端の農業を体験する</td> <td>10名</td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>			協力機関	講座名	募集定員	参加者数	県立美術館	展示室で造形体験！学習キット「ビルダーカード」で何をつくる？	50名	8名	聖徳大学	声が良い魔法のレッスン！	50名	29名	産業技術総合研究所	ヒトのからだってどう動く？“見る力”でわかる体のヒミツ！	30名	27名	県立現代産業科学館	プログラミングにチャレンジ！	30名	21名	城西国際大学	カラダをもっと知ろう～よい姿勢と呼吸で集中力アップ！～	15名	9名	千葉大学	イチゴを通じて最先端の農業を体験する	10名	8名
協力機関	講座名	募集定員	参加者数																												
県立美術館	展示室で造形体験！学習キット「ビルダーカード」で何をつくる？	50名	8名																												
聖徳大学	声が良い魔法のレッスン！	50名	29名																												
産業技術総合研究所	ヒトのからだってどう動く？“見る力”でわかる体のヒミツ！	30名	27名																												
県立現代産業科学館	プログラミングにチャレンジ！	30名	21名																												
城西国際大学	カラダをもっと知ろう～よい姿勢と呼吸で集中力アップ！～	15名	9名																												
千葉大学	イチゴを通じて最先端の農業を体験する	10名	8名																												

	<p>日程:① オリエンテーション ※時間は講座により異なる</p> <p>② 講義・体験</p> <p>③ アンケート記入、閉講</p>
<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度 100%】</p> <p>《県立美術館》</p> <p>○1枚の紙からあんなに大きな作品ができて、面白かったです。土台を上手く作ると安定しました。</p> <p>○みんながいろいろな物や動物などを作っていて楽しかったです。</p> <p>《聖徳大学》</p> <p>○講座を通して自分の声のきれいな出し方を詳しく知ることができました。「声」という楽器を大切にしていきます。</p> <p>○息の吸い方、声の出し方を学んだ後は声を楽に出すことができました。</p> <p>《産業技術総合研究所》</p> <p>○体の動き方と目には関係があることが分かりました。体験が楽しかったです。</p> <p>○大人より子どもの方が骨の数が多いことなど、色々と知れて良かったです。</p> <p>《現代産業科学館》</p> <p>○ちょっとしたプログラミングで、生活に活かせることを知れて良かったです。</p> <p>○MESHを自分で考えて作るのが楽しかったです。</p> <p>《城西国際大学》</p> <p>○学校で教わらなかったことを知れて嬉しかったし、今後も活かしていきたいです。</p> <p>○プロセスから学ぶことで何をするとどうなるのかという具体的な方法を学びました。</p> <p>《千葉大学》</p> <p>○座学だけの講座ではなく、実際に機械を触ったり操作したり食べ比べたりすることで、より分かりやすく美味しく学ぶことができ勉強になりました。</p> <p>○千葉大では、ビニールハウスの中で楽に農業ができる仕組みが作られていて、若い世代の農業の担い手不足にはとてもいいことだと思いました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨については、大学、研究所、関係機関と連携して様々な講座を実施することにより、子どもたちの知的好奇心を育み、「ホンモノ」から学ぶ楽しさや自らの学びを広げ、深めるという目的を達成することができた。 ・講座内容については、座学と体験を組み合わせた構成で実施し、子どもたちの知的好奇心や学ぶ意欲を高めるものとなった。 ・受講生のアンケートについては、いずれの協力機関の講座も満足度100%と高い結果が得られた。 ・支援体制については、協力機関におけるスタッフのサポートにより、実験などの体験活動においても怪我や事故無く、円滑に講座を進めることができた。

【課題・今後の方向性】



- ・講座運営については、当所とは別会場での実施のため、協力機関の担当職員と講座内容や運営方法の打合せや連絡を密に行うことが重要である。
- ・実施時期については、8月に実施した機関が主であった。今後も子どもたちが参加しやすい夏休み中が最適だと考えるが、当所の事業や協力機関講師の都合があるため、協力機関担当と相談の上、適切な開催日を決定する必要がある。
- ・同じ機関に講座をお願いするにしても内容については、毎年更新いただき、新規の受講生を増やせるよう配慮していく必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7年 6月 22日(日)		
事業名	さわやか青年教室		
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。		
会 場	当所フィットネススタジオ、大研修室		
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方		
申込方法	Web又は葉書、来所		
募集定員	40名程度	募集期間	令和 7年 4月 14日から令和 7年 5月25日
参加者数	31名	参加費用	無料
講師 等	NPO法人スマイルクラブ 理事長 大浜 あつ子 氏 他1名		
実施内容	<p>参加人数:受講生31名(6名欠席)、講師2名、ボランティア講師1名、学生ボランティア4名が参加。</p> <p>活動内容:第1回「スポーツ教室」</p> <p>日 程:10:00～12:00</p> <p>①始めの会(オリエンテーション、自己紹介) ②スポーツ教室(軽運動、ボッチャ) ③終わりの会(次回の連絡、アンケート記入)</p> <p>活動後、ボランティア、職員で反省会</p>		
			
	班毎に自己紹介	白熱したボッチャの試合	結果をみんなで見守り、判定

<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度 100%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最初はストレート勝ちで、(二試合目は)逆転勝ちでよかったです。ポッチャでよくできて5対6班は3対1で勝ったけど、5班対3班は2対3で負けて悔しかったです。 ○ボールを投げるのが楽しかったです。 ○6班がはじめて勝ってよかったです。 ○ポッチャをやって楽しかったです。 ○今日はボールを使って楽しかったです。うまく投げることができました。 ○スマイルクラブに入りたいです。 ○久しぶりにポッチャができてよかったです。 ○今日は初日でしたが、とても楽しかったです。 ○やったことがあります。勝って楽しかったです。 ○頑張りました。 ○うれしかったです。 ○またやりたいです。
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨については、ポッチャという活動が本講座の受講生に適しており、「充実した社会生活を営むことを目指した余暇支援」を実現できたと考えられる。 ・活動内容については、今回は第1回目、受講生同士が知り合うことも目的としていた。そのため、はじめの会で自己紹介をし合ったり、ポッチャをチーム戦で行ったりすることでお互いの交流を深めることができた。 ・受講生のアンケートについては、満足度、理解度が100%と高い結果が得られた。 ・運営面については、講師が活動内容やルールを工夫してくださったことで、どの受講生も楽しむことができた。また、怪我無く活動できた。 ・支援体制については、ボランティア講師や学生に担当グループを決めて支援計画を立てたことで、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティア講師が受講生の様子を観察し、適切に声掛けをしたり、誘導補助を行ったりしたことで、どの受講生も落ち着いて活動できた。特別に支援が必要な受講生にも学生ボランティアが親身に対応してくれた。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについては、依頼している大学の学生が4名と少なかったが、参加した学生の気配りが素晴らしく円滑に運営できた。次回からは、ゼミ生の協力も得たり、教員の研修の一環として教員のボランティアを募集したりするなどして人数を増やしたい。 ・配慮を要する受講生については、サポート体制を整え、また、講師やボランティアとコミュニケーションを図ることで、引き続き円滑な講座運営を行いたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7年 7月20日(日)・令和 7年 9月 7日(日)																				
事業名	さわやか青年教室																				
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。																				
会 場	当所フィットネススタジオ及び料理室																				
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方																				
申込方法	Web又は葉書、来所																				
募集定員	40名程度	募集期間	令和 7年 4月 13日から令和 7年 5月25日																		
参加者数	7月20日:32名、9月8日:34名	参加費用	料理材料費500円																		
講師 等	ヨガ教室: ハンディキャップヨガ関東 山崎礼子氏 他1名 料理教室: 一般社団法人 日本糀文化協会代表理事 大瀬由生子氏																				
実施内容	参加人数: <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年7月20日(日)</th> <th>令和7年9月7日(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講生</td> <td>32名(6名欠席)</td> <td>34名(4名欠席)</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>ボランティア講師</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>学生ボランティア</td> <td>6名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ等</td> <td>1名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>				令和7年7月20日(日)	令和7年9月7日(日)	受講生	32名(6名欠席)	34名(4名欠席)	講師	3名	3名	ボランティア講師	2名	2名	学生ボランティア	6名	2名	インターンシップ等	1名	5名
		令和7年7月20日(日)	令和7年9月7日(日)																		
受講生	32名(6名欠席)	34名(4名欠席)																			
講師	3名	3名																			
ボランティア講師	2名	2名																			
学生ボランティア	6名	2名																			
インターンシップ等	1名	5名																			
活動内容: 第2回 1~3 班:ヨガ、4~6 班:料理 第3回 1~3 班:料理、4~6 班:ヨガ 日 程: 10:00~12:00 ①始めの会 (オリエンテーション、講師及びボランティア紹介) ②ヨガ・料理教室 ③終わりの会 (次回の連絡、アンケート記入) ※活動後、ボランティア、職員で反省会																					
			 ヨガの様子																		
			 料理の様子																		

参加者 アンケート	【満足度98%】	
	<p style="text-align: center;">ヨガ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しかった。 ○またやってみたい。 ○いろいろなポーズができてよかった。 ○家でも挑戦したい。 ○体をたくさん動かしてスッキリした。 ○気持ちよかった。 ○ちょっと難しかった(第一回)。 ○面白かった。 ○ダンスの基礎トレーニングができた。 	<p style="text-align: center;">料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○とても楽しかった。 ○おいしくできて良かった。 ○また家でも作りたい。 ○面白かった。 ○ボランティアさんと一緒に作れた。 ○みんなで作れてうれしかった。 ○頑張った。 ○簡単につくれておいしかった。 ○テレビの料理番組に似ていた。
担当者の 所感	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨については、ヨガや料理が「スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動」及び「社会生活の質の向上を目指す学習支援活動」の視点において、受講生に学びの機会となる場を提供し充実した社会生活を営むことを目指した支援ができた。 ・受講生のアンケートについては、満足度が98%と高い結果が得られた。 ・安全面については、ヨガ講師による受講生の特性に応じた活動内容の工夫により、怪我無く活動することができた。料理は、十分火を通すメニュー(冷やし担々麺)にしたこと、また、マスクの用意やアルコール消毒、手洗い励行に努めたことで、食中毒を防ぐことができた。さらに、包丁を使わずにハサミを利用することで怪我の防止もできた。 ・支援体制については、ボランティア講師や学生を各グループに割り当て、支援計画をしたことで、怪我や事故無く、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティア講師が受講生の様子を観察し、ヨガにおいては体の曲げ伸ばし等の運動の補助、料理においては火の扱い等について適切に支援を行った。 	
	<p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガの活動内容については、受講生の特性を考慮したプログラムを組み、個々が無理なく活動できるため、最適な活動であった。 ・料理方法については、具材を切る際に包丁ではなくハサミを使って手軽に作れる工夫がされた。今後も手軽な調理方法を教授して頂くことにより、受講生がさらに家庭生活でも実践しようと思える内容になると考える。 ・活動方法については、受講生を2グループ入替制にし、ヨガと料理を両方体験できる方法が適していた。 ・サポート体制については、当所職員の他、ボランティア講師、依頼している大学の学生ボランティア、学生インターンシップ等の補助により、円滑に運営ができた。ボランティアの参加が少なかったため、インターンの学生等を今後積極的に参加してもらえよう日程調整の連携をしていきたい。 	

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7年10月19日(日)・ 令和 7年11月23日(日)																	
事業名	さわやか青年教室																	
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。																	
会 場	第4回 当所中研修室2及び陶芸室 第5回 当所中研修室2及び手工芸室																	
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方																	
申込方法	Web又は葉書、来所																	
募集定員	40名程度	募集期間	令和 7年 4月 14日から令和 7年 5月25日															
参加者数	10月19日芸術12名、音楽20名 11月23日芸術10名、音楽19名	参加費用																
講師 等	芸術教室(陶芸)： 県立東葛の森特別支援学校 鈴木幸保氏 芸術教室(折り紙)： 日本折紙協会認定講師 折り紙の会西原 濱田クミ子氏 音楽教室： 県立特別支援学校流山高等学園 平瀬麻依子氏																	
実施内容	参加人数： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年10月19日(日)</th> <th>令和7年11月23日(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講生</td> <td>32名(6名欠席)</td> <td>29名(9名欠席)</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>ボランティア講師</td> <td>0名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>学生ボランティア</td> <td>8名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>活動内容：第4回 芸術(陶芸)教室・音楽教室 第5回 芸術(折り紙)教室・音楽教室</p> <p>日 程：10:00～12:00</p> <p>①始めの会 (オリエンテーション、講師及びボランティア紹介)</p> <p>②芸術・音楽教室</p> <p>③終わりの会 (次回の連絡、アンケート記入)</p> <p>※活動後、ボランティア、職員で反省会</p>				令和7年10月19日(日)	令和7年11月23日(日)	受講生	32名(6名欠席)	29名(9名欠席)	講師	2名	2名	ボランティア講師	0名	3名	学生ボランティア	8名	5名
	令和7年10月19日(日)	令和7年11月23日(日)																
受講生	32名(6名欠席)	29名(9名欠席)																
講師	2名	2名																
ボランティア講師	0名	3名																
学生ボランティア	8名	5名																



芸術(陶芸)教室の様子



芸術(折り紙)教室の様子



音楽教室の様子

【満足度100%】

参加者
アンケート

芸術教室	音楽教室
<p>【陶芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくできてうれしかった。 ・非常によかったです。 ・いろいろ楽しかった。またやってみたい ・楽しくて何を作ろうか迷った。 <p>【折り紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。 ・上手く折れてよかった。 ・また折り紙をやってほしいです。 ・やり方を覚えると楽しくなった。 ・リースを頑張ってつくりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。 ・家に帰ったら練習します。 ・みんなで一緒にできて楽しかったです。 ・家で何回も練習します。 ・とにかく頑張った。 ・リズムがあっていてとても素晴らしかったです。 ・「ふるさと」「ビリーヴ」が楽しかった。 ・トーンチャイムをしたり「ビリーブ」「パプリカ」「ふるさと」ができてよかった。 ・パプリカの曲が大好きです。

担当者の
所感


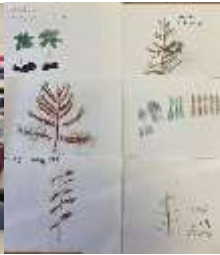
【成果】

- ・本事業の趣旨については、陶芸や折り紙、音楽活動が「レクリエーション等の余暇支援活動」の視点において、受講生に学びの機会となる場を提供し、充実した社会生活を営むことを目指した支援が実現できた。
- ・活動内容については、どの活動も講師の工夫により、受講生が取り組みやすい内容を計画したことで充実したものとなった。
- ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果であった。受講生自身によって芸術か音楽のどちらかを選択し参加したことで、高い満足度が得られた。
- ・支援体制については、ボランティア講師や学生を各グループに割り当て、きめ細かく支援計画をしたことで、円滑に講座を進めることができた。

【課題・今後の方向性】



- ・陶芸の活動内容については、講師の事前準備により受講生は円滑な取り組みができており時間的余裕もあったため、さらに発展的な内容で取り組めると考えられる。
- ・折り紙の活動内容については、受講者に次の折り方が伝わっていないことが散見されたので、折り目を付けた折り方の説明書を紙で用意したりするなどの支援が必要である。
- ・音楽の活動内容については、コップを用いた演奏を取り入れるなど昨年より高度な内容であったにもかかわらず、受講生の理解度は高かった。又、それに成功することで達成感が得られたことから、今後もより高度なことに挑戦する内容を継続していけるとよい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 8年 2月 1日(日)		
事業名	さわやか青年教室		
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。		
会 場	当所大研修室		
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方		
申込方法	Web又は葉書、来所		
募集定員	40名程度	募集期間	令和 7年 4月 13日から令和 7年 5月25日
参加者数	27名	参加費用	無料
講師 等	千葉県体験活動ボランティア支援活動センター職員 小菅嘉子 氏 上野雅久 氏		
実施内容	<p>参加人数:受講生 27 名(11 名欠席)、講師2名、学生ボランティア 2 名が参加。 活動内容:第6回「学習教室(ボランティア活動)」 日 程:10:00~12:00</p> <p>①始めの会(オリエンテーション、講師およびボランティア紹介) ②学習教室(講義、ベルマークと使用済み切手の仕分け作業) ③終わりの会(アンケート記入、総括)</p> <p>活動後、講師、ボランティア、職員で反省会</p>		
	 		
	講師の上野氏と小菅氏	積極的な発言	皆真剣でした ヒメコマツの絵
参加者アンケート	<p>【満足度100%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しかったです。4 ・ベルマークの分別を行い良い勉強になった。 ・またベルマークの仕事をやりたい。 ・ヒメコマツを描いてとても楽しかった。 ・今日は資源について勉強ができてよかった。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張りました。集中してできました。 ・講師の先生、ありがとう。歯ブラシのひきとりありがとう。 ・ものすごくよかったです。 ・みんなで仲良くできた。楽しく過ごせました。 ・切る作業がよかったです。 ・少し難しかった。2 ・少し小さくてやりにくかった。 ・書くだけで疲れました。
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨については、ボランティア学習教室を開催することにより、障害者でも行うことができるボランティア、資源のリサイクルの仕組み等について学ぶ機会を提供した。これにより、「社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す」ことへの一助とすることができた。 ・講座内容については、前半が講師からの説明、後半が資源回収の体験という座学と体験を組み合わせた構成は、受講生の理解を深めるものとなった。 ・学習内容については、障害者ができるボランティアを紹介することで、受講生の知識を広め、又、ボランティアに関する興味・関心を高めることができた。受講後にベルマーク回収のボランティアをやりたいと申し出る受講生がいたことから今回の講座は有効だと考える。 ・会場については、大研修室の前半部分を座学、後半部分を仕分け作業等の為グループごととしたが、前半、後半の移動も講師の事前準備のおかげもありスムーズであった。 ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果が得られた。 ・支援体制については、班により行う課題が異なっていたため、職員やボランティアが班ごとに臨機応変な対応を求められたが、適宜巡回することで怪我や事故無く、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティアが受講生の様子を観察し、適切に声掛けをしたり、トイレや活動場所の移動補助を行ったりしたことで、受講生は落ち着いて行動することができていた。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアについては、回によっては参加人数が少なく、各グループへの十分な割当てができなかった。多くのボランティアを安定的に確保するため、大学との連携をより一層密にし、ボランティアの人数増加に努めていく。 ・配慮を要する受講生については、サポート体制を整え、また、講師やボランティアとコミュニケーションを図ることで、引き続き円滑な講座運営を行いたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告




実施日	①令和7年7月13日(日)、②8月3日(日)、③9月14日(日) ④10月26日(日)、⑤12月7日(日)、⑥令和8年2月8日(日)		
事業名	ものづくりワークショップ		
趣旨	ものづくりを体感する場を提供することにより、生涯学習・文化芸術活動の振興と「さわやかちば県民プラザ」の周知及び利用促進を図る。また、「さわやかちば県民プラザ」利用団体・サークルの活性化及び生涯学習意識の醸成を図る。		
会場	さわやかちば県民プラザ 内アゴラ		
対象	どなたでも		
申込方法	申込不要		
募集定員	なし	募集期間	なし
参加者数	892名 ① 130名、② 197名、③ 172名 ④ 85名、⑤ 230名、⑥ 61名	参加費用	無料 ※ただし材料費は別途
講師等			
実施内容	<p>日程:午前10時～午後1時 ものづくりワークショップ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>7月13日の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10月26日の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2月8日の様子</p> </div> </div> <p>※参加団体・・・NPO パートナーとうかつ、etoile、candle flora、moani-la、fleur de bijou、mahana♡、Viol、TOY's Craft Works、CRAFTROOM6112、MARICO and、マロングラッセ、</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度 97.8%】</p> <p>○夏らしいモチーフのものづくりで、とても季節感があり親子ともども楽しむことができました。</p> <p>○とてもかわいいのがいっぱい親子で夢中で作りました。また是非やりたいです。</p> <p>○丁寧に作り方を教えてくださり、子供も楽しんでいました。</p>		
担当者の所感	<p>【成果】</p> <p>・ものづくりを体験する場を提供することについては、多種多様なワークショップを提供することができた。それに伴い、「さわやかちば県民プラザ」について周知することにつ</p>		

なげることができた。

【課題・今後の方向性】

- ・利用団体・サークルの活性化については、ワークショップに参加する団体がなく、広報や勧誘等していく必要があると感じた。
- ・開催日ごとの参加者の増減については、天候などに左右されるところが大きい。一定の集客方法としてギャラリーの催事と並列で開催できるのであれば相乗効果が得られると考えられる。他にも方法を模索していく必要があると感じた。
- ・開催時に施設の備品(長机、椅子等)について、すべて担当(管理広報課)が準備・片付けしていたが、次年度から、ワークショップという精神を尊重して講師団体が「参加者主体」で実施していく方向に転換していくことを検討している。
- ・開催日数についても、利用促進チームで検討した結果、参加者が見込める日に集中して開催し、集客につなげていくこととする方向で考える。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年7月26日(土)、8月16日(土)		
事業名	親子ものづくり教室		
趣旨	ものづくりの素晴らしさや楽しさを体感する場を提供することにより、生涯学習・文化芸術活動の振興と、さわやかちば県民プラザの周知及び利用促進を図る。		
会場	2階 陶芸室		
対象	小学生～中学生とその保護者		
申込方法	来所またはWeb 申込		
募集定員	12組(24名程度)	募集期間	令和7年6月17日から令和7年7月1日
参加者数	親子12組(31名)	参加費用	2,000円
講師等	「手びねり会」山本 啓子 氏 その他補助員12名		
実施内容	<p>内容:陶芸教室</p> <p>日程:7月26日</p> <p>午後1時～1時05分:オリエンテーション</p> <p>午後1時05分～1時20分:陶芸作品ができるまで説明、注意事項</p> <p>午後1時20分～1時50分:作陶デモンストレーション</p> <p>午後1時50分～4時:作陶</p> <p>午後4時～4時10分:片付け</p> <p>午後4時10分～4時15分:アンケート記入、次回説明</p> <p>午後4時15分～4時30分:記念品配付、終了</p> <p>8月16日</p> <p>午前10時～10時05分:オリエンテーション</p> <p>午前10時05分～10時30分:窯出し見学、作品鑑賞会</p> <p>午前10時30分～11時プレゼント抽選会</p> <p>午前11時～11時20分:アンケート記入、作品梱包、終了</p>		
			
	作陶の様子		

<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度100%】</p> <p>○好きな形をつくれて(自由度が高いご指導と内容)とても楽しく親子で取り組めてよかったです。本日は誠にありがとうございました。</p> <p>○楽しかったです。ありがとうございました。たくさん準備とその後の仕上げもやってくださってありがとうございました。楽しみです。お土産もかわいくて♪</p> <p>○丁寧に教えていただき思った以上に素敵なものづくりができてうれしかったです。</p> <p>○(子)初めて陶芸をやって意外と難しかったり、大変だったけれど、すごく楽しかったです。</p> <p>(親)子供にとって貴重な経験になりました。設備が充実していて親子で参加できる点もよかったです。</p> <p>○【2年】初めて陶芸をしたので楽しかったです。</p> <p>【4年】私は初めて陶芸をしました。出来上がった作品は色も本当に素敵でした！来年もまた陶芸をしたいと思いました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「ものづくりの素晴らしさや楽しさを体感する場を提供すること」については、陶芸について親子で体験することにより、日常生活では体感することのない活動ができたので達成できたと考える。 ・東葛地域以外からも参加者がおり、県民プラザの周知には貢献できている。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較すると参加希望者が激減した。材料費の高騰のため参加費が変更になったことが原因の一つと推測する。 ・次年度は、定期発送を利用したチラシ配付の広域化、チラシ作成時期の早期化、募集時期の延長等を検討して参加希望者の増加に計画的に取り組む。 ・アンケートからもわかるように丁寧な指導、わかりやすい指導など講師に対しては好感度が高いが、サークルのメンバーの高齢化が懸念されており、年々講師陣の人員が減少している。今後は他のサークルとの共同開催も検討していかなければならない。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	①令和7年4月20日(日)、②5月18日(日)、③6月15日(日) ④7月20日(日)、⑤8月17日(日)、⑥9月21日(日)、⑦10月19日(日) ⑧11月16日(日)、⑨12月21日(日)、⑩令和8年1月18日(日)、⑪2月15日(日)		
事業名	さわやかプログラミング学習会		
趣旨	パソコンボランティア等による、小学生以上に向けたプログラミング学習を提供する。		
会場	さわやかちば県民プラザ パソコン実習室		
対象	小学生以上		
申込方法	Web 申込で先着 10 名		
募集定員	10 名	募集期間	開催日の 3 日前まで
参加者数	54名 ①9名、②6名、③6名、④6名 ⑤7名、⑥6名、⑦5名、⑧2名 ⑨0名、⑩2名、⑪5名	参加費用	無料 ※ただしパソコン実習室を使用するための利用料金2時間300円が必要
講師等	パソコンボランティア		
実施内容	日程: 午前10時～正午 スクラッチを使ったプログラミング学習及び、ポケモンプログラミングスタートキット(小学校等で使用する無償の教材)を使ったプログラミング学習。		
参加者アンケート			
担当者の所感	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の参加はほぼ小学生であった。Web 申込を実施したため、当日来たのに満員でできなかったということはない。 ・毎月連続で参加する方も数名おり、今年度前半は申込がほぼ定員に達していた。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web 申込で定員に達しても、当日無断欠席が多くあった。また、後半に入り申込も定員に達することがなくなってきた。 ・当初の予定として用途変更に伴うパソコン実習室の利用ができなくなることから、2月で終了としていたため、変更になってもそのまま終了することとなった。 		




<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の趣旨である「公民館職員として必要な知識、求められる役割等の理解」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が100%であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考えます。 ・ 講師については、市町村訪問の際に君津市の生涯学習について説明をいただいた布施氏にお願いをした。社会教育・生涯学習と公民館の歴史的背景や、君津市を中心とした地域の様々な実践について、公民館で働く者が念頭に置かなくてはならない事業立案の考え方について学ぶことができ、満足度は100%であった。 ・ 机の配置については、グループワークを行いやすいように「Tの字」とした。休憩時間を含め、受講者同士の会話が活発になり、交流が深まった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座内容と講師の選定については、例年、悩む点である。アンケート結果を参考にし、参加者が求める内容を加味したうえで必要な知識等を身に付けられるように講座を企画していきたい。 ・ 講座形式については、対面又はオンラインにするべきか、ハイブリッドにするべきか悩むところである。この講座に関しては、対面で行うことによって受講者相互のつながりを構築する場としたい。 ・ 会場については、県の中心部である千葉市生涯学習センターで実施することで、全県下からの受講者が参加しやすい環境を整えたい。
--------------------	---




さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年8月6日(水)・9月12日(金)		
事業名	社会教育担当者研修会		
趣 旨	社会教育主事及び社会教育士、社会教育担当者等を対象に、今後の社会教育や社会教育施設の在り方について理解を深めるとともに、実践的な技術を身につけ、資質の向上を図る。		
会 場	オンライン		
対 象	県・市町村社会教育主事及び社会教育担当者、社会教育士等		
申込方法	Web申込み		
募集定員	各回40名	募集期間	令和7年5月9日から令和7年8月28日
参加者数	第1回 22名 第2回 31名	参加費用	
講師 等	第1回(基礎編) 皆川 雅樹 氏 【産業能率大学経営学部 教授】 第2回(上級編) 青山 鉄兵 氏 【文教大学人間科学部人間科学科 准教授】		
実施内容	<p>共催:千葉県公民館連絡協議会</p> <p>第1回は、「社会教育・生涯学習の基礎・基本とその可能性」をテーマに社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得を目的とした内容の講義。</p> <p>第2回は、「対話のためのファシリテーションスキルの向上」をテーマに現場で活用できる実践的なスキルの習得を目的とした内容の講義。</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度総合 90.0% (第1回100% 第2回 83%) %】</p> <p>○これまで社会教育の定義が曖昧なまま業務に取り組んでいたが、今回学ぶことができた。今後の業務に生かしていきたいと思う。他市の社会教育事業について共有する機会がほしい。</p> <p>○地域学校協働活動や地域づくりなど近年の流れにも触れていただき参考になりました。最後、市長部局への移管「社会教育的かどうか」についてもう少し伺いたかったです。</p> <p>○公民館現場で7年勤務していたが、公民館側には社会教育についての意識・知識があまりないと感じた。公民館の職員にも研修として参加してもらう機会があってもいいな、と感じました。</p> <p>○対話・会話・討議・議論の分類については、話し合うことをどのようなステージに位置付けられているかがとても分かりやすく、今後、ファシリテーターを行う上でとても参考になった。</p>		

	<p>○役場で関連団体の事務局もやっており、様々な会議にて意見を決定する場があるので、事務局がファシリテーターの立場となり、様々な意見を伺い、うまく結論やゴールに持っていけるようにしていきたいです。</p> <p>○ファシリテーションスキルということについて、学ばせていただいて、これは、講座担当に限らず、通常のままさまざまな場面で必要とされるものだと感じました。もう少し勉強させていただきたい気持ちです。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得」「現場で活用できる実践的なスキルの習得」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が90%であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考えます。 ・実施形式については、オンライン（Zoom）形式で行った。受講者は、所属先より研修に参加することが出来るため、県内広範囲にわたっている。 ・第2回については、ブレイクアウトルームを設定し参加者がワークを通じて各グループ内で話し合いが行われるなど、実践的な研修になり有意義であった。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座内容と講師の選定については、例年、課題である。アンケート結果を参考にし、参加者が求める内容を加味したうえで必要な知識等を身につけられるように講座を企画していきたい。 ・オンライン形式については、実施要項や受講決定通知を通じてグループワーク（ブレイクアウトルームにて）への参加をうたったが、今回受講者の約4割が聴講のみの参加であった。職務等の都合で、聴講のみの参加も仕方ない場合もあるが、できるだけ多くの受講者にグループワークへの参加を促したい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年11月27日(木)												
事業名	学校卒業後における障害者の学びの支援事業 「障害者の学び」研修会												
趣 旨	市町村行政職員や公民館等の社会教育施設職員を対象とする学校卒業後の障害者の学び研修会を開催することで、「学校卒業後における障害者の学びの支援事業」の成果や課題を共有し、県内に障害者の学びの場の普及を図る。												
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室												
対 象	市町村生涯学習・社会教育・福祉担当課職員、公民館等の社会教育施設職員、県内特別支援学校教職員等												
申込方法	当所ホームページ詳細ページ内「Web 申込」又は二次元コードから申し込む。												
募集定員	60名程度	募集期間	令和7年10月21日から令和7年11月20日										
参加者数	17名 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>受講者15名</td> </tr> <tr> <td>ファシリテーター 2名</td> </tr> </table>	受講者15名	ファシリテーター 2名	参加費用	無料								
受講者15名													
ファシリテーター 2名													
講師 等	富津市中央公民館 平野 和行 氏(令和6年度講座実施担当者) 東庄町公民館 仁科沙也佳 氏(令和7年度講座実施担当者)												
実施内容	<p>日程:</p> <p>(1) 開会 午後1時30分～午後1時35分 主催者挨拶</p> <p>(2) 研修 午後1時35分～午後4時</p> <p>① 社会教育施設への普及について 「令和3年度からの実践報告」 さわやかちば県民プラザ 事業振興課</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>② 県内での開催市町村</p> <table border="1"> <tr> <td>市 富津市(富津市中央公民館)</td> <td>市 平塚市(平塚市中央公民館)</td> </tr> <tr> <td>市 野田市(野田市中央公民館)</td> <td>市 船橋市(船橋市中央公民館)</td> </tr> <tr> <td>市 松戸市(松戸市中央公民館)</td> <td>市 鎌倉市(鎌倉市中央公民館)</td> </tr> <tr> <td>市 習志野市(習志野市中央公民館)</td> <td>市 津田沼市(津田沼市中央公民館)</td> </tr> <tr> <td>市 八千代市(八千代市中央公民館)</td> <td>市 千葉市(千葉市中央公民館)</td> </tr> </table> </div> </div> <p>② 発表 「障害のある方を対象とした講座を開催して」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>富津市中央公民館 平野 和行 氏 「パレートク&みんなで パラスポーツ体験！」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>東庄町公民館 仁科 沙也佳 氏 「ハーバリウム教室」</p> </div> </div>			市 富津市(富津市中央公民館)	市 平塚市(平塚市中央公民館)	市 野田市(野田市中央公民館)	市 船橋市(船橋市中央公民館)	市 松戸市(松戸市中央公民館)	市 鎌倉市(鎌倉市中央公民館)	市 習志野市(習志野市中央公民館)	市 津田沼市(津田沼市中央公民館)	市 八千代市(八千代市中央公民館)	市 千葉市(千葉市中央公民館)
市 富津市(富津市中央公民館)	市 平塚市(平塚市中央公民館)												
市 野田市(野田市中央公民館)	市 船橋市(船橋市中央公民館)												
市 松戸市(松戸市中央公民館)	市 鎌倉市(鎌倉市中央公民館)												
市 習志野市(習志野市中央公民館)	市 津田沼市(津田沼市中央公民館)												
市 八千代市(八千代市中央公民館)	市 千葉市(千葉市中央公民館)												

	<p>③ グループワーク 「障害のある方もない方も一緒に参加できる講座を考えよう」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> ファシリテーター及び コーディネーター グループワークの 様子① グループワークの 様子② </p> <p>(3) 閉会 午後4時</p>
<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度100%】</p> <p>○事業報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の4つの柱がよく分かりました。 ・学校卒業後充実した生活を送るために余暇の充実は大切だと思っています。地域での活動に参加できるよう公民館等公の場が身近になるよう学校現場でも伝えていきたいと思いました。 ・障害者に向けたPRについて様々な団体と話し合うことがポイントであることが分かり、今後に役立てていきたいと思いました。 <p>○事例発表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に実施した方から直接お話を伺うことができ、来年度の参考になりました。 ・各市町村の良さがよく出ていました。 <p>○グループワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の多様な意見を知ることができて良かったです。 ・少人数で各自が意見を述べることができ、良かったと感じました。 <p>○本研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表や話し合いを通して障害者対象の講座の知識を深めることができました。 ・公民館以外の生涯学習に関わる方と交流ができて良かったです。 ・良い環境の中研修を受けることができました。 ・実際に取り組まれた事例発表がとても良かったです。
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である『「学校卒業後における障害者の学びの支援事業」の成果や課題を共有し、県内に障害者の学びの場の普及を図る』については「令和3年度からの実践報告」、「事例発表」により共有できたと考える。また、事例発表の発表者からも講座実施の実体験に基づきお話しいただけたことで、受講者の障害者の学びの場の普及への理解が深まったと考える。 ・グループワークについては、事例発表者がファシリテーターになったことで、発表内容や実施経験を踏まえてワークが進められ、円滑かつ有意義なものとなった。

【課題・今後の方向性】

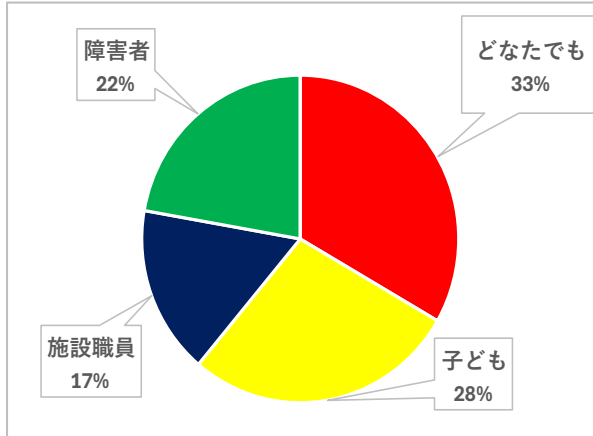
- ・昨年度、今年度と2年間グループワーク主体の研修会としたが、次年度の研修会の内容については、コーディネーターの助言を踏まえ検討していきたい。
- ・今年度の受講者が17名と定員の3割に満たなかった。参加した受講者からは好意的な意見を多数いただいているので、広報周知の仕方について改めて見直していく必要があると感じた。

【学ぶ～各種講座・社会教育関係者向け講座～】について

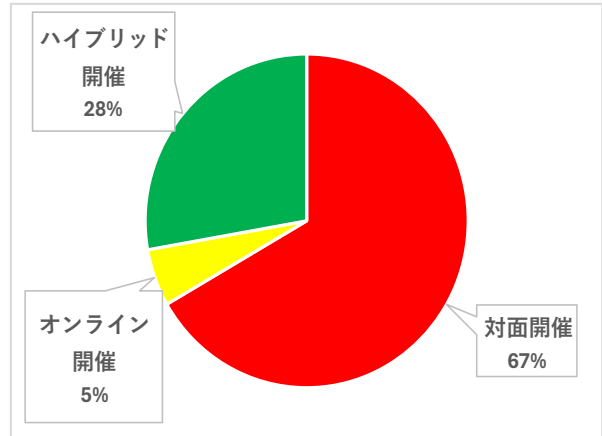
令和7年度 調査・研究 【学ぶ～各種講座・社会教育関係者向け講座～】

【調査結果】

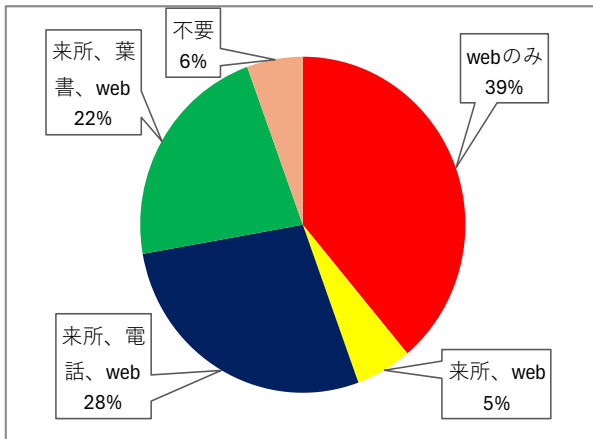
(1) 対象



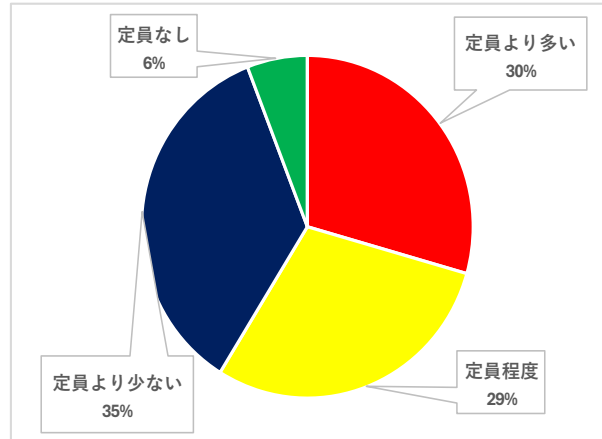
(2) 開催方法



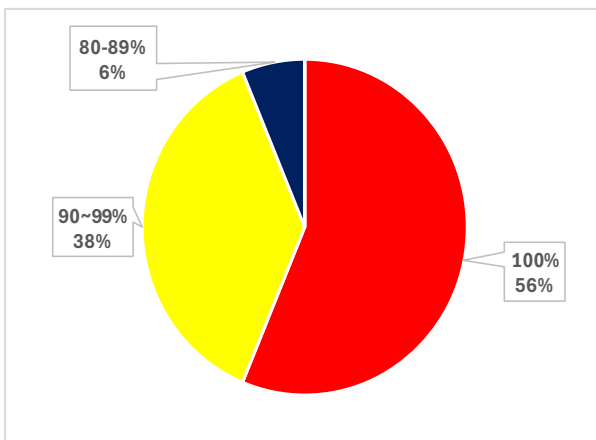
(3) 申込方法



(4) 参加者数



(5) 満足度



①成果

- ・「(1) 対象」よりどなたでも受講できる講座だけでなく、小中学生や障害者を対象とした講座、各市町村の社会教育関係者や公民館を対象とした研修会等幅広い事業を行うことができている。
- ・「(2) 開催方法」より事業の開催方法については対面開催だけでなく、オンライン開催や対面開催及びオンライン開催を合わせたハイブリッド開催を行っている事業もある。また、各市町村の社会教育施設を会場としたサテライト開催も行っている事業もある。そのため遠方の受講希望者のニーズにも応えられるようになっている。
- ・「(3) 申込方法」より全ての講座でwebから申込むことができるようになっている。
- ・「(5) 満足度」より各講座の満足度については全体平均97.8%となっており、受講者が満足のいく講座を広く提供できている。
- ・講座の運営については当所職員だけでなく、施設ボランティアを活用して円滑に運営することができている。




②課題

- ・「(4) 参加者数」より参加対象が限定された講座となると、どうしても受講者数が少なくなってしまう傾向にある。当所が主催している講座を広く知っていただくため広報周知の方法を工夫していく必要がある。

③今後の方向性

- ・今後、講座の受講者を増やしていく方法として、受講対象者のニーズを把握した上でターゲティングをし、周知先を広げて広報していきたいと考える。
- ・申込方法について、県民が時間や場所を問わずに申込みができるように、また本県が推進しているデジタル化を踏まえ、講座の申込方法を徐々にweb申込に統一していきたいと考える。
- ・今後も「いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会を実現」できるように、事業の趣旨を明確にし、参加対象に応じて開催時期及び時間帯、内容等を見直していきたいと考える。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和8年2月26日(木)		
事業名	生涯学習・社会教育実践研究交流会		
趣 旨	地域における生涯学習・社会教育の中核を担う社会教育主事等及びNPOや地域の社会教育関係団体関係者等、各市町村教育行政関係者等が一堂に会し、講演や実践発表、情報交換を行うことにより、参加者の資質向上や分野を問わない横の連携の構築を図る。		
会 場	オンライン開催(Zoom)		
対 象	生涯学習・社会教育に関わっている方や興味のある方 社会教育主事、社会教育士、社会教育主事有資格者、NPO等関係者、 社会教育関係団体関係者、社会教育・生涯学習担当職員、学校関係者 等		
申込方法	Web 申込		
募集定員	50名	募集期間	令和7年12月2日から令和8年2月12日
参加者数	37名(参加者 34名、講師3名)	参加費用	無料
講師 等	<p>【基調講演】 文部科学省 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 専門調査員 佐野 純也 氏</p> <p>【事例発表】 ①NPO 法人 スマイルクラブ 理事長 大浜 あつ子 氏 ②多古町企画政策課 宮本 晶 氏</p>		
実施内容	<p>内容:ウェルビーイングの向上～持続可能な地域づくりと生涯学習～ 日程:午後12時55分～午後1時 オリエンテーション 午後1時 ～午後2時 基調講演 午後2時5分 ～午後3時05分 事例発表 午後3時5分 ～午後4時15分 参加者同士の交流会 午後4時15分 ～午後4時30分 諸連絡、閉演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>基調講演</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>事例発表①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>事例発表②</p> </div> </div>		


<p>参加者 アンケート</p>	<p>【基調講演：満足度94%】</p> <p>○現在の生涯学習・社会教育の動向を、要点整理された話で知ることができて、とても有意義だった。ウェルビーイングの循環を図式化されていたことで、生涯学習・社会教育の推進がその循環にもたらす役割として必要不可欠ということがよくわかりました。</p> <p>○最新の国の情報について、自分で読み取り、理解するのは大変なので、かみ砕いて話をしてくださったので助かりました。</p> <p>【事例発表：満足度94%】</p> <p>○営利でも税収でもないお金のルートで苦しいところを赤裸々に共有していただき、今後の参考となった。</p> <p>○スマイルさん、需要と供給がマッチした事業展開、素晴らしい。多古町のまちおこしも励みになりました。</p> <p>○スマイルクラブの活動は、近隣で行っているのに全く知らないプロジェクトであり、改めて自分の無知さを実感するとともに、とても魅力的な活動だと感じました。地域おこしの協力隊の活動も、知らないなりに調べながら聞いていましたが、とても実践的な活動を行っており、こちらもすごい魅力を感じました。どちらの活動も、もっと魅力が広く伝わっていくと良いなと思いました。</p> <p>【交流会：満足度100%】</p> <p>○参集での開催もご検討ください。</p> <p>○あっという間に終わってしまうくらい、盛り上がりました。生涯学習・社会教育実践に取り組む人たちは、話もオープンなのですぐに打ち解けました。</p> <p>○交流会の2回目は近隣市の方では地域性もわかり年齢や経験は違ったけどすぐに話げできた。</p> <p>○近隣の地域で活動されている方と交流できてよかったです。</p> <p>○社会教育に携わっていらっしゃる方のお話は、間違いなく興味深いです。この人財を活かさない手はないです。</p> <p>○偏りなく交流できるようにファシリテーターのような方がいた方がよい気もしました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「講演や実践発表、情報交換を行うことにより、参加者の資質向上や分野を問わない横の連携の構築を図る。」については、「ウェルビーイング」および「地域づくり」をテーマに基調講演、事例発表、交流会とスムーズな流れで展開することができ、参加者からは高い満足度を得られた。 ・交流会については、スポーツ、地域おこし等の分野別の交流と所属や団体を問わない地域ごとの交流に分けることで、参加者同士の連携促進の一助となった。 ・事前にメールで交流内容を周知し、参加者の活動状況等を回答していただいたことで、途中退出者は昨年度より減少した。 ・連携の構築については、事後に受講者同士の連絡先交換においてパイプ役を担ったことで、横の連携の構築をより支援できた。

【課題・今後の方向性】

- ・交流会については、申込時に受講者の活動状況などをより詳細に把握し、本事業の趣旨を実現できるような最適なグループ編成を行うことが課題である。
- ・開催形式については、対面開催を望む声があることから、ハイブリット開催も視野に入れて開催方法について検討する必要がある。
- ・周知方法については、メールの告知のみでは行政機関の担当者への周知が十分でない場合があり、電話で補足連絡を行った。チラシ配架を減らして参加者を増やすことはできたが、今後はより効率的な周知方法を検討していく必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	(柏)令和7年6月29日(日)・令和7年9月14日(日) (東金)令和7年6月22日(日)・令和7年9月15日(月・祝) (香取)令和7年6月15日(日)・令和7年9月15日(月・祝) (君津)令和7年6月22日(日)・令和7年8月31日(日) (鴨川)令和7年6月8日(日)・令和7年9月14日(日)																										
事業名	高校生のためのボランティア講座																										
趣 旨	高校生がボランティア体験を通して多様な他者や社会と関わることにより、自己の在り方・生き方を見つめ直すとともに、ボランティアに関する知識や理解を深め今後のボランティア活動に取り組む動機付けとすることをねらいとする。また、自発的・主体的に地域に根ざしたボランティアを体験することにより自らが生活している地域に目を向けさせる。																										
会 場	(柏)さわやかちば県民プラザ (東金)県立東金青少年自然の家 (香取)県立水郷小見川青少年自然の家 (君津)君津市生涯学習交流センター (鴨川)県立鴨川青少年自然の家																										
対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に在住、または県内の高等学校に通学していること。 ・ボランティア活動に対して意欲・関心を持っていること。 ・原則として、希望する1会場の全日程(2日間)及びボランティア体験に参加できること。 																										
申込方法	各高等学校の担当職員が受講生をとりまとめ、当所ホームページより申込み。																										
募集定員	(柏)50名 (他会場)30名	募集期間	令和7年4月12日から令和7年5月15日																								
参加者数	140名	参加費用	無料																								
講師 等	神田外語大学 石井雅章 氏・ディープデモクラシーセンター 加納基成 氏 南流山子ども食堂 金川聡美 氏・千葉県ユニセフ協会 福本朋子 氏・伊東栄美子 氏 敬愛大学・敬愛短期大学 地域連携センター 藤森孝幸 氏 他17名																										
実施内容	<p>主催: さわやかちば県民プラザ・県立水郷小見川青少年自然の家・県立君津亀山青少年自然の家・県立鴨川青少年自然の家</p> <p>参加人数:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募</th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏</td> <td>54名</td> <td>49名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>東金</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>香取</td> <td>24名</td> <td>22名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>君津</td> <td>21名</td> <td>13名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>鴨川</td> <td>32名</td> <td>27名</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table> <p>日程:10:00~16:00(各会場、各回共通)</p>				応募	第1回	第2回	柏	54名	49名	28名	東金	12名	12名	12名	香取	24名	22名	19名	君津	21名	13名	12名	鴨川	32名	27名	18名
	応募	第1回	第2回																								
柏	54名	49名	28名																								
東金	12名	12名	12名																								
香取	24名	22名	19名																								
君津	21名	13名	12名																								
鴨川	32名	27名	18名																								

	 <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> ボランティア基礎講座 パラスポーツ体験 ソフトフェンシング ボランティア体験発表 </p>
<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度 99.1 %】</p> <p>○普通に生活をしていたら聞けないようなお話を聞いて参加して良かったと感じた。参加する前は、何となくボランティアに対して、苦手意識を持ってしまっていたが、講義を通して楽しいものだと感じた。自分の活動が少しでも誰かの役に立ってくれれば嬉しいと感じる。貴重な時間をありがとうございました。</p> <p>○各自が自分なりに考えて発表する機会が設けられており、各自がボランティアについて深く考える機会になったと思います。</p> <p>○有意義な時間が過ごせたと感じた。ワークショップが自分のためにもなったし、知らない高校生ともコミュニケーションが自然と取れて良かったと思う。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「多様な他者や社会と関わる事」を通して「自己の在り方・生き方を見つめ直す」こと、「ボランティアに関する知識や理解を深め今後のボランティア活動に取り組む動機付けとすること」について、各講座において、受講生が新たな知識を習得し、日頃の活動などを見つめ直すきっかけとすることができた。 ・受講生を対象に実施したアンケートについては、満足度が全会場全講座の平均で99%と高い結果が得られた。 ・各会場において、体験や活動を含む講座を設定し、受講生が理解しやすい内容が多く設定できた。 ・活動等を通して、受講生同士が意見交換や交流などをする機会もあり、他者と関わり理解することについても実践することができた。 <hr/> <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度から各会場2回の講座実施とし、夏季休業中に1回以上のボランティアに参加したことをレポートとして提出する形で展開したが、第2回の出席率が非常に悪い結果となった。同じ高校の受講者がまとまって欠席するケースが多かったが、担当の先生へのリマインドも複数回行っているため、受講者の募集や担当の先生との連絡の方法そのものを見直す必要があると考える。 ・今年度で閉所する東金会場の運営も行ったが、出席率100%に加え、体験発表の様子から本講座の趣旨に合致したものであったと感じる。この東金会場のあり方を他会場にも共有することで、より良い講座づくりをしていきたい。 ・次年度は東金会場に代わり千葉会場の設定を検討しているが、自然の家で行うような実習系の活動が受講生にとって魅力になるものであると思うので、会場に合わせた講師や内容等の検討を進めていく必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	第1回 令和7年7月24日(木) 第2回 ①令和7年8月26日(火) ②令和7年9月7日(日) ③令和7年9月13日(土) ※①～③のいずれかにおいて1日以上実習を行う。上記実習日に都合がつかない場合は、受講者が設定した実習場所にて実習を行う。 第3回 令和7年10月16日(木) 第4回 令和7年11月22日(土)		
事業名	令和7年度「ちば学びサポーター」養成講座		
趣旨	県民の生涯学習の成果を生かし、公民館等の社会教育施設、地域学校協働活動、NPO・団体等における地域社会での活躍を促進し、地域における生涯学習を支える人材の育成を図るため、講師力や企画力を養う講座を実施し、講座修了者を認証する。		
会場	千葉県総合教育センター(千葉市美浜区若葉2-13) さわやかちば県民プラザ(柏市柏の葉4-3-1)		
対象	生涯学習ボランティア(※)として地域活動を目指す方 ※自らの生涯学習を通じて学んだことを、社会のために(主に学習の支援にかかわる活動)に生かすボランティア活動のこと		
申込方法	Web申込み		
募集定員	30名	募集期間	令和7年7月11日(金)締切り
参加者数	第1回 12名 第2回 12名(各実習に参加した計) 第3回 12名 第4回 11名	参加費用	
講師等	岩崎 久美子 氏 【放送大学教養学部 教授】		
実施内容	主催:千葉県教育委員会 内容: 第1回「講座の企画・運営のポイント、地域課題の検討」をテーマに、講座の講師として活動していくにあたり大切なポイントについて学んだ。 第2回は、「ちば子ども読書の集い」・「さわやか青年教室」・「ちばアカデミア講座」のイベント及び講座のいずれかに受講者が参加し、運営補助等の実地実習を行い経験を積んだ。 第3回は、「事業広報のポイント、企画書づくり」をテーマに、ちば学びサポーターとして関わる講座やイベントの企画方法について、グループワークを通して学んだ。		

第4回は、受講者自ら企画した講座を全員が発表し、相互に評価・研鑽を行った。最後に講師である岩崎先生からご講評をいただき養成講座を終了した。



【グループで企画書の検討中】



【作成した企画を発表中】



【認定式後の記念撮影】

【満足度80% (講演満足度80%、実習満足度80%)】

- 参考文献や実例をたくさん出していただき、とても理解しやすかったです。
- 地域に学びの場をつくる意義について、考える時間をいただいて感謝しています。挨拶ができるコミュニティや集いづくりが、社会教育の大切な目標になるのだとあらためて知りました。ファシリテーターの役割も勉強になりました。企画書づくりのポイントもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- 理論的な理解、実践的なディスカッション、表現的手法等々よく理解できました。
- 身近な話を交えてくださるので、自分事としてとらえやすいなと感じました。今後の参考になりました。
- イヴァンさんの話、心に残りました。目の前のしかけの華やかさに目を奪われず、お互いの心が豊かであるかどうか、気に留めるようになりたいと感じました。先生ゆるやかで温かな雰囲気をつくってくださって感謝しています。また、とてもリラックスさせてくださいました。人が皆発言しやすい雰囲気づくりに、リラックスさせてあげるのって大切ですね。ありがとうございました。
- 実際の活動を見させていただき、自分自身の活動にも生かせる点が多くあったので参加できてよかったです。
- 多彩な能力・実行力に驚きました。そういう方が集まってきたんだと思いますが1回の実習で聞いたことが有益で楽しかったです。

参加者
アンケート

【成果】

- ・本事業の趣旨である「社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得」「現場で活用できる実践的なスキルの習得」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が80%以上であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考え。
- ・第1回講座では、ファシリテーションの意義や手法について学びを深めた。講師として活躍するにあたり、場をデザインすることは大切であるため、有意義な内容であった。
- ・第3回講座では、講座やイベントの企画書を作成した。「ちば学びサポーター」として認証を受けた後、各自で活動していく際の参考になると考える。

担当者の
所感

- ・第4回実習では、第3回講座で考えた講座やイベントの企画を受講者各々が発表した。
- ・参加申込者数については、昨年度が29名だったのに対し、今年度は12名であった。参加人数は減少したがその分発言しやすくなった。また個々の企画発表を実施するなど内容は充実した。
- ・修了者の地域の生涯学習に関わる機会を増やす一助とするため、修了者数名に施設ボランティアへの登録を勧め、来年度以降の事業へのサポートをお願いした。

【課題・今後の方向性】

- ・受講者への「ちば学びサポーター」認定証を最終回に授与できるよう準備する。
- ・今年度のように講演2回、実習2回（うち1回は受講者による発表）という講座内容で実施する場合は、定員の人数を20名程度にする必要があると考える。それ以上の人数になってしまうと各々の発表機会が確保できなくなる。
- ・修了者に、当所事業の講師等をお願いすることも検討する。
- ・受講者で講座の講師を希望する方には、ちばりすネットプラスでの講師登録について紹介したが、必要があれば今後の活動について相談を受け付ける。
- ・実地実習の在り方、講座内容と講師選定については、今後の検討事項である。
- ・第4回の開催時期が三連休の初日であったため、受講者のアンケートにも「改善が望まれる」等の意見があった。来年度は検討する必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年8月24日(日)		
事業名	Let's do it!!～体験やボランティアから学ぶ価値を肌で感じよう～ 「高校生・大学生とLet's do it!!～みんなであそぼう～」		
趣旨	異年代が集まり、体験活動・ボランティア活動を行うコミュニティの場を提供することで、視野を広げ、社会の一員として主体的に地域活動を行えるような、自分で考え、判断し、行動することのできる人材育成、さらには人材の循環を図っていくことを目的とする。そのために段階的処置とし、小学生や中学生は、体験活動として実施し、高校生や大学生は、企画・運営する側としてボランティア活動として実施することとする。また、パイロット事業として、県内の市町村へ広げていくための一助とする。		
会場	大研修室、フィットネススタジオ		
対象	小学生（ボランティアスタッフ高校生、大学生）		
申込方法	Web 申込		
募集定員	30名程度	募集期間	令和7年6月12日から令和7年7月23日
参加者数	19名、ボランティアスタッフ8名	参加費用	
講師等			
実施内容	<p>主催: さわやかちば県民プラザ・千葉県体験活動ボランティア活動支援センター</p> <p>参加人数: 参加者19名、ボランティアスタッフ8名</p> <p>日程: 9:00 集合 会場設営 役割確認 準備 9:45 受付開始 10:00 スタッフ紹介、全体説明 10:05～10:30 ふうせんデコレーション 10:35～11:45 遊びの体験 大研修室: ふうせんチャンバラ フィットネス: ふうせんリレー 11:45 全員集合 ふうせんチャンバラ決勝戦 アンケート記入、参加者解散 12:00 片付け 12:45 スタッフ反省、次回連絡、解散</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度 84%】</p> <p>○風船が割れて怖かったけど、楽しかった。</p> <p>○参加して、楽しいことや悔しいことがありました。</p> <p>○大学生と遊べて楽しかったです。今度はバレーボールやりたいです。</p> <p>○いろいろなゲームができて楽しかった。</p> <p>○困ったことはなかった。話しかけてくれて嬉しかった。</p>		



【成果】




- ・本事業の趣旨である、自分で考え、判断し、行動できる人材の育成については、少ない人数でそれぞれが主体的に行動する姿があり、活動を通して、ボランティアスタッフの成長が見られた。
- ・参加者の満足度については、アンケート結果から84%だった。
- ・各市への周知については、昨年度より早い時期に配架できた。当日は体調不良等でキャンセルが12名ほど出たが、参加した子どもたちは楽しそうに活動していた。

【課題・今後の方向性】

- ・この事業の趣旨として、ボランティアスタッフが活動を通して、自分で考え、判断し、行動することのできる人材を育成することにあるが、継続して参加しているボランティアスタッフを中心に、主体的に活動する姿が増え、年々活動自体は向上していると感じる。そのため、参加者にも満足感を与えているのではないかと考えられる。
- ・ここ数回はものづくりの活動を行っていたが、今回はふうせんにペンやシールでデコレーションする程度で、体を動かす遊びをメインに企画し、募集した。夏休みの回は例年応募者が多い傾向にあったが、今回は定員程度におさまった。これまでは、夏休みということもあり、工作の作品として考え参加を希望する家庭も多かった可能性があるが、この事業の目的を考えると、今回のような企画で十分に参加者・ボランティアスタッフともに、満足感や達成感は得られると感じた。今後も、ボランティアスタッフの考えを尊重した活動が継続していけたらと思う。

担当者の
所感

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和8年2月23日(月祝)		
事業名	Let's do it!!～体験やボランティアから学ぶ価値を肌で感じよう～ 「高校生・大学生とLet's do it!!～みんなであそぼう～」		
趣旨	異年代が集まり、体験活動・ボランティア活動を行うコミュニティの場を提供することで、視野を広げ、社会の一員として主体的に地域活動を行えるような、自分で考え、判断し、行動することのできる人材育成、さらには人材の循環を図っていくことを目的とする。そのために段階的処置とし、小学生や中学生は、体験活動として実施し、高校生や大学生は、企画・運営する側としてボランティア活動として実施することとする。また、パイロット事業として、県内の市町村へ広げていくための一助とする。		
会場	大研修室		
対象	小学生（ボランティアスタッフ高校生、大学生）		
申込方法	Web 申込		
募集定員	30名程度	募集期間	令和8年1月8日から令和8年2月2日
参加者数	10名、ボランティアスタッフ5名	参加費用	
講師等			
実施内容	<p>主催:さわやかちば県民プラザ・千葉県体験活動ボランティア活動支援センター</p> <p>参加人数:参加者10名、ボランティアスタッフ5名</p> <p>日程:9:00 集合 会場設営 打合せ 本日の流れの確認 9:45 受付開始 10:00 スタッフ紹介、全体説明、各自コマ作り開始 11:00 すぐろく開始 別のグループが作ったすぐろくで遊ぶ 11:45 アンケート記入、参加者解散 12:00 片付け、スタッフ反省、次回連絡 12:40 解散</p>		
参加者アンケート	<p>【満足度 100%】</p> <p>○すぐろくで遊べて嬉しかった。</p> <p>○こまの指示を書くのが楽しかった。オリジナルのルールでおもしろかった。</p> <p>○いろいろな人とすぐろくができて楽しかった。</p> <p>○すごく楽しかった。</p>		
			



【成果】

- ・本事業の趣旨である、自分で考え、判断し、行動できる人材の育成については、回を重ねるごとにボランティアスタッフの自主性が高まり、様々な視点から、自分たちの活動について改善したり、参加者の立場になって考えられたりできるようになった。
- ・参加者の満足度については、アンケート結果から100%だった。
- ・少ない人数であったメリットとして、参加者一人一人に目が行き届き、スタッフが寄り添うことができた。

【課題・今後の方向性】

- ・各市への周知については早い時期に配架できたが、参加者の聞き取りにより、各市町村で情報が行き渡っていないようであった。来年度は、学校だけでなく、施設周辺の掲示板等を利用するなど、できるだけたくさんの目に留まるような工夫が必要であると感じた。
- ・今回は「参加者同士の関わりの機会を多く設ける」という明確な目的を持ち、ボランティアスタッフが企画、運営を行った。そうすることで、スタッフ自身が自分の関わり方や立ち位置を考えた行動をすることができていたように思う。単に「遊びを提供する」という目的から、一段上がった考え方と活動ができるようになったことに大きな成長を感じる。ボランティアスタッフの考えを尊重することは大切だが、この事業の目的である「人材育成」を考えたとき、職員からのスタッフへの声かけや助言に関して、職員側の共通理解の下、より一層意図的に行っていく必要があると考える。

担当者の
所感

【課題・今後の方向性】

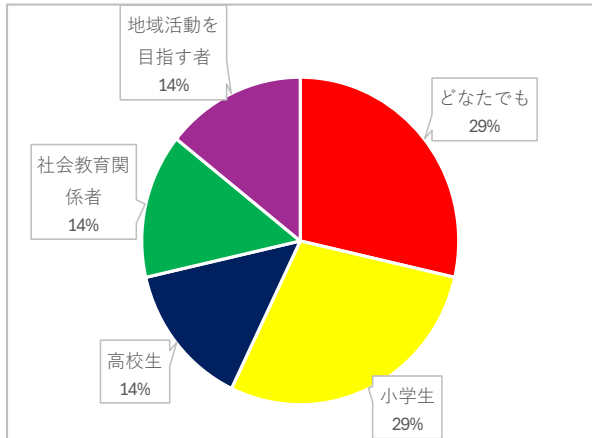
- ・参加者について、毎月参加しているリピーターが多い。そのリピーター以外の参加者を増やす方法を考える必要があると感じた。
- ・講師等について、プロト・サーティーンクラブのメンバーが高齢化しているため、さらなる若いボランティアの育成が必要であると感じた。
- ・開催日時について、遠方からくるボランティアもいるが、施設の利活用に伴う宿泊室の利用停止により参加できず規模を縮小する場合、場の提供が危ぶまれると感じる。

【関わる～各種体験～】について

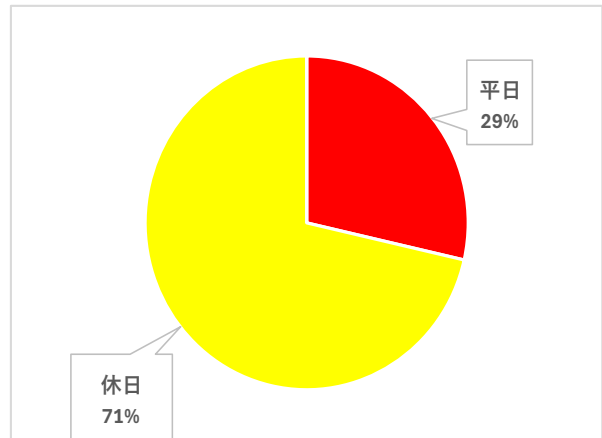
令和7年度 調査・研究 【関わる～各種体験～】

【調査結果】

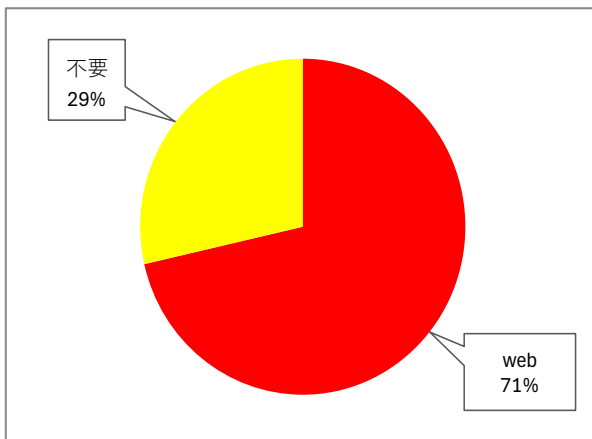
(1) 対象



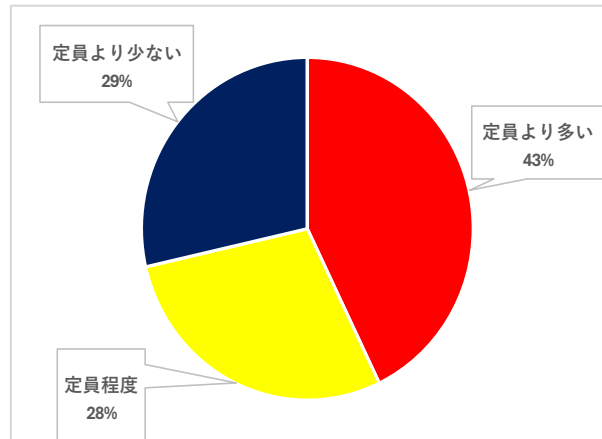
(2) 開催日時



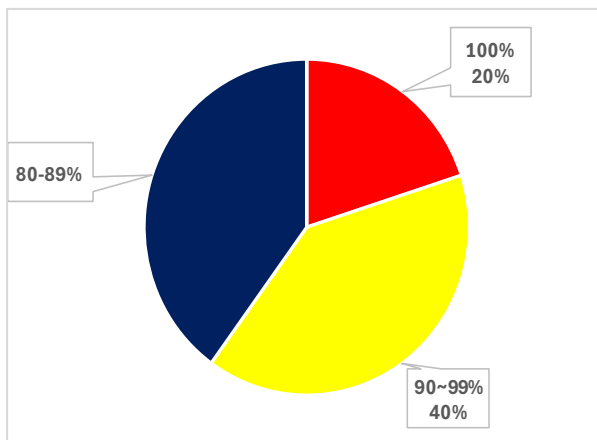
(3) 申込方法



(4) 参加者数



(5) 満足度



①成果

- ・「(1) 対象」より約4割が小学生及び高校生を対象とした体験講座となっている。ボランティア体験を主とした活動となっているが、満足度の平均も94%と高くなっており、受講者のニーズに合った内容となっている。
- ・「(2) 開催日時」より児童生徒や家族連れ向けの講座は休日開催、職員向けの講座は平日開催と参加者が参加しやすいように開催日を設定している。参加者のニーズに合わせて講座の時期、日時等を設定することで参加しやすい講座づくりを目指している。
- ・「(3) 申込方法」よりweb申込もしくは申込不要で参加することができる。
- ・「(5) 満足度」より各講座の満足度については全体平均91.4%となっており、受講者が満足いく講座を広く提供できている。
- ・講座の運営については当所職員だけでなく、施設ボランティアを活用して円滑に運営することができる。




②課題

- ・「(4) 参加者数」より【学ぶ】同様、参加対象が限定された講座となると、どうしても受講者数が少なくなってしまう傾向にある。当所が主催している講座を広く知っていただくため広報周知の方法を工夫していく必要がある。

③今後の方向性

- ・今後、講座の受講者を増やしていく方法として、受講対象者のニーズを把握した上でターゲティングをし、周知先を広げて広報していきたいと考える。
- ・各講座の満足度をさらに高めることができるよう、今年度アンケート等でいただいたご意見を次年度の講座運営に生かしていくようにする。
- ・今後も「いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会を実現」できるように、事業の趣旨を明確にし、参加対象に応じて開催時期及び時間帯、内容等を見直していきたいと考える。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年5月10日(土)		
事業名	The World of Brass 2025 in 県民プラザ		
趣 旨	生徒に実際のマーチング体験をさせることにより、その楽しさを実感させ、芸術文化活動の促進を図るとともに、県民にマーチングを鑑賞する機会を提供し、生涯学習の推進に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ アゴラ 柏の葉公園		
対 象	千葉県内の中・高等学校の吹奏楽部		
申込方法	自由観覧		
募集定員	募集期間		
参加者数	5341名	参加費用	
講師等			
実施内容	<p>主催：さわやかちば県民プラザ 千葉県吹奏楽連盟 主管：千葉県東葛飾地区吹奏楽連盟 協賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン 参加校：20校（中学校10校、高等学校9校、中高等学校1校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野田市立第一中学校 ・野田市立南部中学校 ・柏市立松葉中学校 ・我孫子市立布佐中学校 ・習志野市立第四中学校 ・柏市立柏高等学校 ・松戸市立松戸高等学校 ・千葉県立東葛飾高等学校 ・千葉県立千葉商業高等学校 ・専修大学松戸高等学校 ・野田市立東部中学校 ・柏市立逆井中学校 ・柏市立豊四季中学校 ・習志野市立第三中学校 ・千葉市立草野中学校 ・習志野市立習志野高等学校 ・千葉県立柏中央高等学校 ・千葉県立松戸六実高等学校 ・西武台千葉中学校・高等学校 ・千葉聖心高等学校 <p>参加人数：生徒1168名 顧問・ボランティア50名 計1218名 日程：9：30～11：50 アゴラ・ホール演奏（県民プラザ） 12：00～13：00 パレード（柏の葉公園） 13：30～16：00 フロアマーチング（県民プラザ）</p>		
			
	アゴラコンサートの様子	パレードの様子	フロアマーチングの様子
参加者アンケート	<p>【満足度100%】</p> <p>○毎年楽しみにしています。生徒さん達の頑張りが伝わる素晴らしい行事だと思います。これからも続けていけることを願っています。</p> <p>○近くに住んでいながら、この催しを知らずに、今回初めて見ました。中高生の瑞々しい姿、素晴らしい演奏をととても楽しめました。</p> <p>○天気が心配でしたが、外のパレードができて良かったです。出演者の皆さんの</p>		


	<p>頑張ってきた発表は、いつも楽しみにしています。</p> <p>○県民プラザ職員の方、学校職員の方、その他大勢の方の支えがあって素晴らしい会となったこと、感謝しています。働き方改革等もあり、調整が大変かと思えます。子ども達の活動、活躍の場を与えていただけることに本当に感謝しております。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「芸術文化の促進」、「生涯学習の推進」については、吹奏楽部の生徒が、日頃の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場を設定できた。また、約4000名の観覧者の興味関心に寄与することができた。 ・雨天により柏の葉公園でのコンサートが実施できず急な予定変更となったが、臨機応変に対応することができ、当日は滞りなくプログラムを進行することができた。 ・当日の混雑については、館内掲示やホームページで、年度初めから早めに周知することができた。 ・観覧者満足度については、アンケート結果から100%満足であった。 ・観覧者アンケートについては、2次元コードを読み取っても回答できるように工夫したが、総数の5分の1程度がオンラインからの回答であった。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の計画については、各種申請関係を含めて可能な限り今年度中に進めていく（5月開催の事業で、年度初めだと間に合わないため。）。 ・当日の運営については、雨天プログラムとなり会場変更の問い合わせが多数あった。ホームページや館内掲示でさらに周知できるよう準備を進める必要があった。 ・駐車場については、午前中から満車となった。少しでも混乱を避けるために「右折入場・出場はご遠慮ください。」等のアナウンスを入れると良かった。 ・観覧者席については、数が少ないとの声が複数あがった。観覧者の入れ替わりを想定して動きやすいように立ち見席を多くしていたが、実際にはさほど入れ替わりが見られなかった。今後は、出演校関係者に優先的に座っていただく入れ替わり制の椅子を用意する等の対応が考えられる。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年6月7日(土)～6月15日(日)(※6月9日は休所日)		
事業名	第3回 とうかつ地域文化祭		
趣旨	東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、自主性、主体性、創造性や専門性を生かせる場とする。東葛飾地域の文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場とする。東葛飾地域の各種団体による日ごろの文化活動の成果を発表し、東葛飾地域文化の振興と生涯学習の推進に寄与する。		
会場	さわやかちば県民プラザ		
対象	どなたでも		
申込方法	自由観覧		
募集定員		募集期間	
参加者数	9168名 参加58団体(348名)	発表参加費(アゴラ) 【実行委員会の収入】	5,000円～15,000円
		ワークショップ参加費 【参加団体の収入】	100円～2,000円
講師等			
実施内容	<p>主催: とうかつ地域文化祭実行委員会 共催: さわやかちば県民プラザ 内容: 6月7日(土) オープニングイベント 発表&体験(8) 箏・尺八・舞踊・クラシックバレエ等 煎茶会(1) 6月8日(日) 洋の日(13) ジャズダンス・ベリーダンス・バンド等 6月14日(土) ハワイアンフェスティバル(8) 6月15日(日) 和の日(12) 包丁儀式・演劇・吹奏楽・和太鼓・三線等 囲碁大会(5市代表) フィナーレ(2) 期間中展示 俳句、写真、書道、手芸、生け花、油彩等(計8) ワークショップ 手形アート(1) ※()内の数字は参加団体数</p>		
	 <p>オープニング(和太鼓)</p>  <p>ハワイアンフェスティバル</p>  <p>展示(ちぎり絵)</p>  <p>エクササイズダンス</p>  <p>フィナーレ</p>		

<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度 94%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パンフレットが見やすかったです。演目が多岐にわたって楽しかったです。 ○今日の本番に向けて、一生懸命頑張ってきたことが伝わり、感動しました。小さな子どもから大人まで、みんながダンスを楽しんでいて、ダンスっていいなと改めて思いました。 ○さまざまなエンターテイメント「楽しければいいじゃない！」時間管理タイムキーピングばっちりでしたね。 ○今年はいろんな団体が見れたので良かったです。また来年も同じくいろんな団体が参加してくれるといいですね。
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「東葛飾地域文化の振興」、「生涯学習の推進」については、東葛飾地域及び近隣で活動する文化団体及び文化団体に所属する方々が、日頃の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場及び、参加団体同士の交流が深まる場として設定できた。また、9000名以上の来場者の興味関心に寄与することができた。 ・本事業の実施については、とうかつ地域文化祭実行委員と10か月前から打合せを行い、参加団体・ワークショップの参加者募集を行っていたが2月下旬にホール設備に不具合が生じた関係で、ホールの利用・開催を中止とした。そのため、ホールでの参加が決定していた団体にご迷惑をかけてしまった。 ・参加団体との打ち合わせ・リハーサル等については、実行委員会が中心となり実施されたが、昨年度より時間の短縮化がなされている。 ・観覧者満足度については、アンケート結果から満足度（大変満足した及び満足した）が94%（あまり満足でない3%、無回答3%）であった。 ・文化祭期間中の来場者については、昨年度（8486人）より700人ほど来場者が増えた。いくつかの地方紙において本事業を紹介する記事が掲載されたことが要因の1つと考える。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観覧者アンケートについては、2次元コードを読み取っても回答できるように工夫し、オープニングでも呼びかけ、スタッフにより来場者個々に配布を行ったが、回答数が41件と少なかった。 ・観客席については、今年度2・3階に設置しなかったため、アゴラに人が集まり一体感が増した。 ・次年度の本事業の実施については、今年度に、自主運営化への移行の判断を行うことになっている。今年度の利用貸館料概算が多額になっていること、ホールスタッフ増員分の経費が支出の大部分を占めていることから、自主運営化を進めた場合、これらの金額が参加団体に参加費として計上されることは、本事業の継続にとって困難になると考える。引き続き県民プラザが協力という形で運営・実施していく方向にて検討する必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年11月16日(日)		
事業名	令和7年度 柏の葉吹奏楽団定期演奏会「晩秋のコンサート」		
趣 旨	県内の優れた吹奏楽指導者を講師に迎え、一般公募した演奏者により結成した吹奏楽団によるコンサートを開催し、芸術文化活動を支える人材の育成を図るとともに、県民に吹奏楽の演奏を鑑賞する機会を提供し、吹奏楽の素晴らしさを伝え、参加型芸術文化活動の推進を図る。		
会 場	さわやかちば県民プラザ アゴラ		
対 象	どなたでも		
申込方法	自由観覧		
募集定員		募集期間	
参加者数	1472名	参加費用	
講師 等			
実施内容	<p>主催：柏の葉吹奏楽団 協力：さわやかちば県民プラザ 柏の葉吹奏楽団参加者数：140名</p> <p>日程 9：15～12：00 リハーサル 12：00～14：00 休憩・準備 14：00～16：00 晩秋のコンサート 16：00～16：30 後片付け</p> <p>晩秋のコンサートプログラム：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 K点を超えて 2 祝典序曲 3 ロンドンデリーの歌 4 吹奏楽のための第一組曲 5 愛の賛歌 6 断頭台への行進 7 塔の上のラプンツェルメドレー 8 峠の我が家 9 ジャパニーズ・グラフィティ MIX ～ザ・ドリフターズ・メドレー～ 10 メリーゴーランド 11 アメージンググレイス 12 アイ・ゴット・リズム 13 レッツダンス 		
			
	【コンサートの様子①】	【コンサートの様子②】	【コンサートの様子③】

<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度100%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体を通して完璧でした。過去に聴いた中で第1位です。 ○久しぶりに今回の演奏会を通じて、学生時代の部活の思い出が懐かしく感じられる機会となりました。 ○晩秋のコンサートに相応しく、落ち着いた曲調、雰囲気できつろげる時間を過ごさせていただきました。 ○私も石田先生の指揮で楽器を奏でたら上手にできそうな気がしました。 ○車椅子利用者専用の場所を確保していただき、安心して演奏を聞く事ができました。 ○よく知っているメロディ心に残る愛の讃歌やアメージンググレイス等、しみじみと心に刻んできました。故郷は子供時代を回想し何とも言えない哀愁の念にかられました…。主人は涙をこらえきれない様子でした…。素晴らしい演奏をありがとうございました。
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「芸術文化活動を支える人材の育成」、「参加型芸術文化活動の推進」については、柏の葉吹奏楽団員が役割分担をしてコンサートに向けての準備を行うことができた。本年度から楽団が自主運営となり、特に各パートから選出されたコンサート係（企画委員）は、それぞれの仕事に責任をもって取り組むことができた。また、1000名以上の観覧者に向けて、日頃の練習の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場を設定するとともに、県民の興味関心に寄与することができた。 ・本事業の運営については、駐車場や館内の安全を考慮し、職員を配置した。また、楽団員の駐車スペースを別に確保し、一般来場者の駐車場数を多く設定したことで、円滑に進めることができた。 ・楽団の演奏については、5月からの練習の成果を十分に発揮することができ、好評であった。4名の講師による指揮の様子に感銘を受ける観覧者もいた。 ・観覧者満足度については、アンケート結果から100%満足であった。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏の葉公園のイベントを確認し、1月のコンサートに向けて計画を綿密に立てていきたい。 ・アゴラの座席配置については、優先席を設ける等の計画を立て、高齢者や足の不自由な方や小さな子ども連れの方のための座席確保に努めたい。 ・コンサートの準備については、柏の葉吹奏楽団事務局との連携を密にし、演奏者と観覧者が満足できるよう進めていきたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年11月27日(木)～令和7年12月4日(木)		
事業名	千葉県特別支援学校作品展		
趣旨	一人一人が輝く共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進に向けて、特別支援教育及び特別支援学校について広く県民に対して理解・啓発を図るとともに、特別支援学校に在籍する児童生徒が作品を発表する場とし、県民と特別支援学校生徒との触れ合いをとおして、共生社会実現の一助とする。		
会場	さわやかちば県民プラザ 1階県民ギャラリー、2階回廊ギャラリー及びアゴラ		
対象	どなたでも		
申込方法	なし		
募集定員	なし	募集期間	
参加者数	500名	参加費用	無料
講師等	なし		
実施内容	<p>主催:千葉県特別支援学校長会 さわやかちば県民プラザ 参加人数:500名 日程:搬入:11月26日(水) 展示:11月27日(木)～12月4日(木) 搬出:12月4日(木) 物品販売:県立湖北特別支援学校 11月27日(木)・28日(金)9時15分～11時</p> 		
参加者アンケート	<p>【満足度 98.5%】 ○特別支援学校の取組がよくわかりました。素敵な作品で温かい気持ちになりました。 ○感性豊かで素敵な作品が沢山のこちらでも思わず微笑んでしまいました。来年も楽しみにしています。また作品販売があると嬉しいです。 ○とても素敵な作品ばかりで毎年楽しみにしています。アイデアも豊かで参考にさせていただきます。</p>		

<p>参加者 アンケート</p>	<p>○子ども達の感性を感じました。鳥肌が立つほど素晴らしく、この個性を大切にしたいと思いました。毎年、先生方のご苦勞もあるかと思いますが、ぜひ続けてほしい作品展です。ありがとうございました。</p> <p>○大変に個性豊かな作品で、力強さや優しさを感じることができました。何より、生徒さんのために多大なサポートと工夫をしておられる先生方に深く敬意を表します。</p> <p>○皆が頑張っている姿が作品を通して見える気がしました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨については、特別支援学校の児童生徒の作品を通じて、各特別支援学校の取組を知り、理解する機会となった。 ・特別支援教育関連情報コーナーを通じて、各機関が作成しているリーフレットを手に取りの方が多く、とても好評だったこともあり、共生社会実現に向けて考える機会となった。 ・県内特別支援学校紹介パネルの展示を通して、各学校での取組や特徴などを知る機会となった。 ・県立湖北特別支援学校による物品販売会を通して、特別支援学校の生徒と県民が直接触れ合う機会となり、特別支援学校についての理解を深め、共生社会実現の一助とすることができた。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局校との打合せを早い段階から行うことができたため、円滑な運営につなげることができた。事務局は持ち回りのため、今年度の課題等をしっかり情報共有し引き継ぐことで、来年度の本事業をより良いものにできるようにする。 ・来場者把握のため、受付を1階のみとし、2階入口は封鎖していたが、車いすの方や2階で他の研修等を行っている方々にも見てもらえるように、来年度はよりオープンな形で開催できるような方策を考えていきたい。 ・販売会では完売になるのが早かったため、予定時刻よりも大幅に早く終了してしまい、来場者から残念だという声があった。運営側で来場者数や売れ行きを予想して、販売校へ伝えられるようにしていきたい。 ・上方の展示の作品紹介が見にくいという声が多数あった。学校ごとに展示場所が限られていることも踏まえ、展示説明の工夫を図っていきたい。 ・受付担当の特別支援学校の教員が、来場者対応に困る場面が複数回あった。当所と事務局でマニュアルやQ&Aを作成し、円滑に対応できるようにしていきたい。 ・所内に特別支援学校の作業製品紹介コーナーを設置し、作品展開催毎に製品を入れ替えていただく形をとることで、所内で特別支援学校の活動に触れる機会とする。 ・一昨年度までと比べ、来場者数が減少している。理由として、学校の行事として参加していた団体が今年度はなかったことや、ペーパーレス化に伴いチラシ等の紙配架を取りやめたことに起因すると考える。実際来場者から大変好評な事業であるため、特別支援教育周知の取組としてより多くの県民の方に来場していただけるよう、来場者数増加への方策を練っていきたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告




実施日	令和7年12月20(土)、21日(日)		
事業名	令和7年度(第28回)高校生バンドフェスティバル		
趣旨	高校生で編成されたバンドに、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、音楽活動とおとして、地域や学校の枠を越えた高校生同士の交流を図る。 また、この経験を糧とし、将来的に文化活動を支える担い手の育成を図るとともに、参加型芸術文化活動をより一層促進する。		
会場	さわやかちば県民プラザ ホール		
対象	県内に在住または県内高等学校に在学する高校生で編成されたバンド		
申込方法	Web 申込(演奏動画添付)		
募集定員	24組の高校生バンド	募集期間	動画審査:令和7年8月1日から令和7年9月30日
参加者数	24組106名の高校生バンド 観覧者227名	参加費用	無料
講師等	玉置 瞬 氏(柏市立柏高等学校教諭) 薦 春紀 氏(千葉県立柏の葉高等学校教諭) 内記 達弥 氏(千葉県立流山のおおたかの森高等学校教諭) 澤 祥太 氏(柏市立柏高等学校出身・同校軽音楽部コーチ) 小谷野 大樹 氏(RUDE MAN(ルードマン)ボーカリスト)		
実施内容	<p>内容:動画審査を通過した22校24組のバンドにより2日間に渡りバンドフェスティバルを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【舞台袖からの様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【正面からの様子】</p> </div> </div>		
参加者アンケート	<p>【満足度 100%】</p> <p>「顧問」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒たちにとって良い経験となったと感じております。 ○各バンドとも程よい持ち時間で転換にも十分な余裕があり、とても良かったです。 ○前列の席がスカスカになってしまうのでなにかいい案があるといいのですが…。 ○生徒さんたちがしっかり運営していて素晴らしいなと思いました。 		

	<p>○高文連の千葉県大会と出場資格をそろえて頂いて「私立中高一貫の場合、中学生のエントリー」も認めていただきたい。実施要項に動画審査結果公開日を御記載頂けると幸いです。駐車券は大変助かりました。</p> <p>「出演者」</p> <p>○楽しかったです！10</p> <p>○初めてのホールでの演奏だったのですが、新鮮でとても気持ちよかったです。4</p> <p>○観客も盛り上がっていて楽しかった。PAの方の対応がスムーズでやりやすかった。</p> <p>○同年代の人の音楽への憧れが力になるようなコミュニティの場で成長に繋がりました！</p> <p>○会場が乾燥し気味だったので加湿等していただければ嬉しいなあと思います。</p> <p>○また機会があれば参加させてください。</p> <p>○色んなバンドを見れて、ためになる好評をいっぱいもらって楽しかった！</p> <p>○もっとバンドを交流させる時間がほしかったです。</p> <p>○とても勉強になった。今後の音楽活動にも活かしていきたい。</p> <p>○照明がよかった。</p> <p>「一般観覧者」</p> <p>○高校生の元気なバンドに感激です。とっても良かったです。4</p> <p>○色々な他校のバンドの演奏を聴くことができ、自分の勉強にもなりました。4</p> <p>○どのバンドも迫力がすごくて自分も出れるように頑張りたいと思いました！3</p> <p>○長く継続してください。絶対にまたやってください！2</p> <p>○友人を誘ってぜひまた来たいと思いました。2</p> <p>○転換をもう少し短くしてもいいと思います。2</p> <p>○もっと盛り上がりたい！</p> <p>○時間に余裕があるスムーズな進行、素晴らしかったです。</p> <p>○全てが整った施設でとても良かった。音がキレイで光がはっきり見えて良かったです。</p> <p>○観衆、聴衆が少ない！校内、校外、地域へのPR不足？もったいない。</p> <p>○出演者の皆さんがとってもお上手なのでいい勉強になりました。推しバンドできました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位10バンドは無条件でフェスティバル進出、11組目以降については、1校につき1バンド制(上位10バンドに選ばれた学校からは非選出)を取り入れ、質の向上も図った。 ・進行表を共有し、ボランティア生徒を多く配置することで、ホールスタッフと円滑に連携することができた。 ・各校顧問に、事前に大まかな出演の流れを伝えることで、円滑な進行ができた。 ・一般観覧者を入れての開催であったが、大きなトラブルなく実施することができた。 ・それぞれの演奏を聞き合うよう事前に呼び掛けたことで、「他校の演奏を聞いてよかった。」「勉強になった。」などの感想が多く聞かれた。 ・出演後に、講師から出演者に丁寧で親切な講評が行われたことで、出演者の資質向上、軽音楽の普及に貢献できた。

【課題・今後の方向性】

- ・集客については、アンケートでも書かれているとおり少ないことが課題となった。広報の仕方や参加校の受付時間について工夫していかなければならないと感じた。チラシへの記載方法についても再検討していく。
- ・次年度も演奏動画審査のみで出場校を決定しフェスティバルを実施する。
- ・出演予定者の体調不良等で動画審査後のメンバー変更の依頼が5バンドあったが、すべてを承認した。今後も柔軟に対応をしていきたい。
- ・事前に提出いただいた楽器のセッティングシートに、対応不可のこと(無線機材)を記入してくる学校が見られた。要項を顧問も生徒も読んでいないケースがあるため、周知の仕方に工夫が必要である。
- ・無線アンプの使用を求める団体が5バンド以上あった。これを許可して運営方法を再考するほうが時代のニーズに合った運営といえる。当所の機材の機能を再検証し、検討していくべきである。
- ・演奏時間が1バンド20分あること、照明効果が素晴らしいこと、講師から15分以上にわたり講評してもらえること等、県軽音楽専門部主催の行事と比較してオリジナリティがあるため、今後も当事業を継続、発展させていくべきである。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和8年1月18日(日)		
事業名	令和7年度 柏の葉吹奏楽団定期演奏会「新春のコンサート」		
趣 旨	県内の優れた吹奏楽指導者を講師に迎え、一般公募した演奏者により結成した吹奏楽団によるコンサートを開催し、芸術文化活動を支える人材の育成を図るとともに、県民に吹奏楽の演奏を鑑賞する機会を提供し、吹奏楽の素晴らしさを伝え、参加型芸術文化活動の推進を図る。		
会 場	さわやかちば県民プラザ アゴラ		
対 象	どなたでも		
申込方法	自由観覧		
募集定員		募集期間	
参加者数	1856名	参加費用	
講師 等			
実施内容	<p>主催：柏の葉吹奏楽団 協力：さわやかちば県民プラザ 柏の葉吹奏楽団参加者数：140名</p> <p>日程 9：15～12：00 リハーサル 12：00～14：00 休憩・準備 14：00～16：00 新春のコンサート 16：00～16：30 後片付け</p> <p>新春のコンサートプログラム：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 K点を越えて 2 祝典序曲 3 ロンドンデリーの歌 4 吹奏楽のための第一組曲 5 愛の讃歌 6 断頭台への行進 7 塔の上のラプンツェルメドレー 8 峠の我が家 9 ジャパニーズ・グラフィティXIX ～ザ・ドリフターズ・メドレー～ 10 メリーゴーランド 11 アメージンググレイス 12 アイ・ゴット・リズム 13 レッツダンス 14 Tears 15 故郷 		
			
	【コンサートの様子①】	【コンサートの様子②】	【コンサートの様子③】

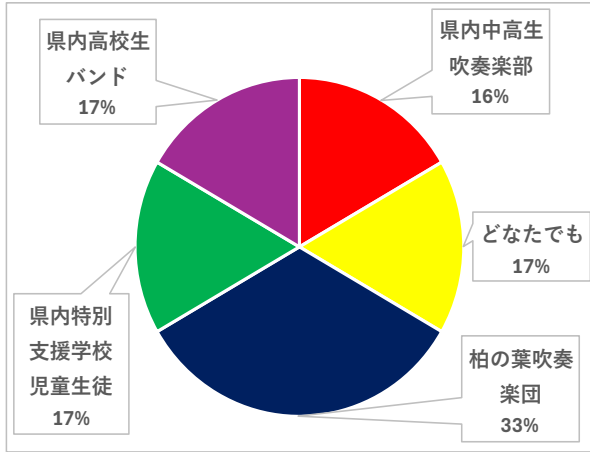
<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度100%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ドリフメドレー、ロンドンデリー、祝典序曲の迫力がすごかったです。 ○毎回ハイクオリティーの演奏をありがとうございます。続けていくのは大変だと思いますが、長くコンサートを聴けることを願っております。 ○県民プラザに初めて来ました。このコンサートが無ければ足を運ぶことも無かったことでしょうか。選曲が素敵でした。無料なんて申し訳ないです。次回も楽しみにしています。 ○3年ぶりに聴きましたが、石田先生の元気そうな姿が見られて良かったです。末永く頑張ってください。 ○皆さんの力強い演奏に感動しました。パーカッションチームの音も最高でした。この演奏を楽しみに長生きしたいです。 ○背後から響いてきたトロンボーンの音色、アゴラを利用した素敵な演出に感動しました。音に包まれた感覚が印象的でした。 ○演奏のレベルがとても高かったです。日頃から練習を重ねていらっしゃることが伝わってきました。私も色々なことに挑戦し、努力を重ねたいと思います。
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「芸術文化活動を支える人材の育成」、「参加型芸術文化活動の推進」については、柏の葉吹奏楽団員が役割分担をしてコンサートに向けての準備を行うことができた。本年度から楽団が自主運営となり、特に各パートから選出されたコンサート係（企画委員）は、それぞれの仕事に責任をもって取り組むことができた。また、1000名以上の観覧者に向けて、日頃の練習の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場を設定するとともに、県民の興味関心を高める一助となった。 ・本事業の運営については、駐車場や館内の安全を考慮し、職員を配置した。また、楽団員の駐車スペースを別に確保し、一般来場者の駐車場数を多く設定したことで、円滑に進めることができた。 ・座席については、前回の晩秋のコンサートよりも数を増やし、なるべく多くのお客様が座れるように配慮した。立ち見の方の数が減り、効果が実感できた。 ・観覧者満足度については、アンケート結果から100%満足であった。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏の葉公園のイベントを確認し、次年度のコンサートに向けて計画を綿密に立てていきたい。 ・コンサートの準備については、柏の葉吹奏楽団事務局との連携を密にし、演奏者と観覧者が満足できるよう進めていきたい。

【観る～各種イベント～】について

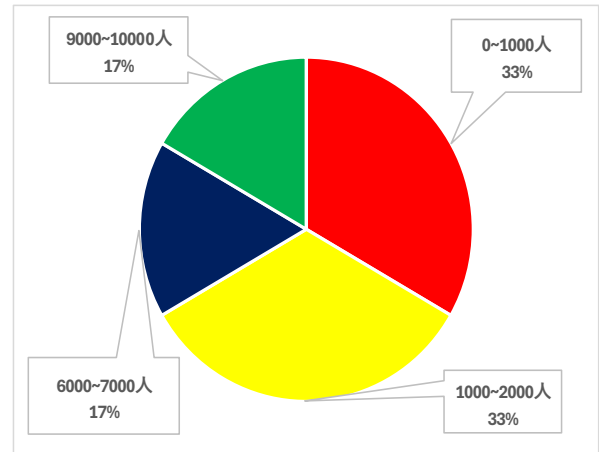
令和7年度 調査・研究 【観る～各種イベント～】

【調査結果】

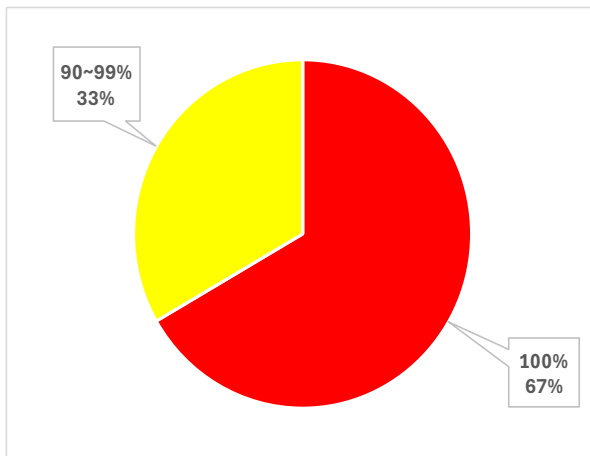
(1) 参加対象者



(2) 観覧者数



(3) 満足度



①成果

- ・「(1) 参加対象者」より様々な年齢、所属を対象としたイベントを多く開催している。芸術文化センターとして、様々なイベントを県民に提供できている。
- ・「(3) 満足度」より各イベントの満足度については全体平均98.6%となっており、参加者及び観覧者が満足のいくイベントを提供できている。

②課題

- ・「(2) 観覧者数」より各イベントにより観覧する人数に差がある。イベントの開催時期、内容、周知方法等を見直し、工夫していく必要がある。

③今後の方向性

- ・まずはさわやかちば県民プラザで行われている講座イベントを県民に認知していただくことが重要である。そのためにも、ホームページの見直しや各市町村の社会教育施設と連携をして広報していきたいと考える。
- ・今後も県民の文化活動を支援し、文化芸術の創造・発信・交流の場を提供していきたいと考える。